HITACHI
Inspire the Next

取扱説明書

保証書・据付説明書別添付

日立全自動電気洗濯機

型式

エヌダブリュー　　ダブリューアール

NW-5WR

このたびは日立全自動電気洗濯機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、保証書・据付説明書・洗濯機設置時のチェックシート(据付確認書)とともに大切に保存してください。

「安全上のご注意」→**(P.4～7)**をお読みいただき、正しくお使いください。

もくじ

ご使用の前に

安全上のご注意 ･････････････････････････ 4
各部のなまえ・付属品 ･･････････････････ 8
操作パネルのはたらき ･･････････････････ 10
使用上のご注意 ････････････････････････ 12
据え付け状態の確認 ････････････････････ 12
ふたの開閉について ････････････････････ 13
ふたの開けかた ･･･････････････････････････ 13
チャイルドロックの設定 ･･････････････････ 13
ふたの閉めかた ･･･････････････････････････ 13

お洗濯の前に

洗濯物の準備と確認 ････････････････････ 14
洗濯も風脱水運転もできないもの ･･････････ 14
風脱水運転できないもの ･･････････････････ 14
上手に洗濯をする ･･････････････････････ 15
洗濯物の片寄りを防ぐ ････････････････････ 15
洗濯物の重さの目安 ･･････････････････････ 15
洗剤や柔軟剤の使いかた ････････････････ 16
洗濯物の量の計測と水量表示 ･･････････････ 16
洗剤・液体漂白剤・柔軟剤量 ･･････････････ 17
洗剤・液体漂白剤・柔軟剤の入れかた ･･････ 18
石けん(天然油脂)の入れかた ･･････････････ 19
洗濯のりの使いかた ････････････････････ 20
洗濯のりの入れかた ･･････････････････････ 20

使いかた

運転コースの選びかた ･･････････････････ 21
洗濯する／洗濯～風脱水する ････････････ 22
使いかた ･････････････････････････････････ 22
詳細設定 ･････････････････････････････････ 23
毛布コースで洗濯する ･･････････････････ 24
洗濯の準備 ･･･････････････････････････････ 24
毛布の入れかた ･･･････････････････････････ 24
毛布の取り出しかた ･･･････････････････････ 24
毛布の干しかた ･･･････････････････････････ 24
使いかた ･････････････････････････････････ 25
ドライコースで洗濯する ････････････････ 26
洗濯の準備 ･･･････････････････････････････ 26
洗濯物の前処理 ･･･････････････････････････ 27
洗濯物の干しかた・仕上げかた ････････････ 28
使いかた ･････････････････････････････････ 29
予約運転をする ････････････････････････ 30
使いかた ･････････････････････････････････ 30
詳細設定 ･････････････････････････････････ 31
お好みの設定で運転する ････････････････ 32
洗い・すすぎ・脱水の個別運転 ････････････ 32
運転内容と変更できる内容 ････････････････ 34
風脱水運転をする ･･････････････････････ 36
使いかた ･････････････････････････････････ 36
詳細設定 ･････････････････････････････････ 37
槽洗浄・槽乾燥を使う ･･････････････････ 38
運転の使い分け ･･･････････････････････････ 38
槽洗浄 ･･･････････････････････････････････ 38
槽乾燥 ･･･････････････････････････････････ 38
使いかた ･････････････････････････････････ 39
便利な使いかた ････････････････････････ 40
お湯を使う(風呂水など) ･･････････････････ 40
洗濯液を2度使う ･････････････････････････ 41
終了音の設定 ･････････････････････････････ 41
衣類乾燥機と組み合わせる ････････････････ 41

お手入れ

糸くずフィルター…… 42
排水口・排水トラップ…… 43
給水口…… 43
本体、洗濯・脱水槽…… 44
吸気口…… 44
水栓(蛇口)、ワンタッチつぎて、給水ホース…… 44
柔軟剤投入口…… 45

お困りのとき

操作パネルにお知らせ表示されたとき…… 46
こんな音がしたとき…… 47
本体各部…… 47
❶音…… 47
❷振動…… 47
❸給水口・給水…… 48
❹排水口・排水…… 48
❺ふた…… 49
❻洗濯・脱水槽…… 49
❼電源…… 49
❽本体…… 49
本体の運転動作…… 50
❾運転動作…… 50
❿運転時間…… 50
操作パネルの表示内容…… 51
⓫水量表示…… 51
⓬運転中表示…… 51
洗濯物の仕上がりが気になる…… 52
⓭洗剤残りがある…… 52
⓮糸くずが気になる…… 52
⓯汚れ落ちが悪い…… 52
⓰黒ずみが気になる…… 53
⓱黄ばみが気になる…… 53
⓲色移りや変色が気になる…… 54
⓳洗濯物がゴワつく…… 54
⓴においがつく…… 54

アフターサービスなど

もしものとき…… 55
凍結のおそれがあるとき
(または転居などで水抜きをするとき)…… 55
もし凍結したとき…… 55
別売り部品…… 56
仕様…… 57
保証とアフターサービス…… 58

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注記事項は

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。表示内容を守らないことにより生じる危害や損害については、負担をおいかねますのでご了承ください。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例
「警告や注意を促す」内容のものです。
してはいけない「禁止」内容のものです。
実行していただく「指示」内容のものです。

⚠ 警告

電源プラグ・電源コードの発火や漏電を防ぐために（感電・けが、発煙・発火・火災のおそれ）

- ●電源コードを傷つけない
  - ・傷つけない、加工しない　・無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない
  - ・加重をかけない、挟み込まない
- ●ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
- ●傷んだ電源コードや電源プラグ、緩んだコンセントを使用しない
- ●タコ足配線をしない、延長コードを使用しない

- ●定格 15A 以上・交流 100V のコンセントを単独で使う
- ●電源プラグは根元まで差し込む
- ●電源プラグの刃や、刃の取り付け面にほこりが付着している場合は乾いた布でよくふき取る

プラグを抜く
- ●電源プラグを抜く場合は、電源プラグを持って抜く
- ●お手入れの際や長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜く

アース線接続
- ●アース線を取り付ける
  アース線の取り付けは、電気工事店または販売店にご相談ください。
  （工事費は、本体価格に含まれていません）

本体の故障や事故を防ぐために（電気部品を傷めたり、振動で本体が転倒するおそれ）

水場禁止
- ●浴室など湿気の多い場所、屋外など風雨にさらされる場所に据え付けない

- ●キャスターの付いている台など、不安定な場所に据え付けない

⚠警告

運転時の爆発や火災を防ぐために（油の酸化熱による自然発火や引火のおそれ）

●**引火物や火気を洗濯・脱水槽に入れない、近づけない**
・灯油、ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールおよびそれらの付着した洗濯物
・ローソク、蚊取り線香、たばこ

●**油や引火物が付着した洗濯物、引火の可能性がある洗濯物を衣類乾燥機で乾燥させない**
・植物油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油、美容オイル(ボディオイル、エステ系オイルなど)、ベンジン、シンナー、ガソリンが付着した洗濯物
・樹脂(セルロース系)　・ポリプロピレン繊維製品　・スポンジの入ったもの

●**揮発性溶剤(灯油、ガソリン、ベンジン、シンナーなど)やカセイソーダを使って洗濯しない それらの付着したものを洗濯しない**

感電、漏電、ショートによる火災を防ぐために

プラグを抜く

●**本体が動かない、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼する**

分解禁止

●**分解・修理・改造をしない**
修理は販売店などにご相談ください。

水ぬれ禁止

●**本体各部や電源プラグに水や洗剤などをかけない**

子どもの事故を防ぐために（洗濯・脱水槽の中に落ちてけがをするおそれ、窒息のおそれ）

●**子どもに洗濯・脱水槽の中をのぞかせない、本体の近くに台を置かない**
洗濯・脱水槽内に閉じ込められて、窒息、やけど、感電、けが、おぼれるおそれがあります。

●**操作に不慣れな方だけでは使わせない**

●**付属品が梱包されているポリ袋は、子どもの手の届かないところに置く**
ポリ袋を頭にかぶると、窒息するおそれがあります。

洗濯・脱水槽への巻き込まれを防ぐために（ゆるい回転でも洗濯物が手に巻きついてけがのおそれ）

接触禁止

●**洗濯・脱水槽が完全に止まるまで、中の洗濯物などに手を触れない**
手に巻きついてけがをするおそれがあります。
特に子どもには注意してください。

洗濯運転時の発泡を防ぐために（泡が多量に発生し、本体の故障・水漏れ・感電のおそれ）

●**洗剤は表示に従って適量を入れる**

安全上のご注意（必ずお守りください）つづき

⚠注意

洗濯物・本体・周囲の壁や床の損傷を防ぐために

（洗濯・脱水槽のバランスがくずれて異常振動が発生し、洗濯物・本体・周囲の壁や床の損傷、洗濯物の飛び出し、本体の転倒のおそれ）

異常振動が発生したときは安全装置が作動しますが、洗濯・脱水槽が高速で回転しているため、すぐに回転は止まりません。

●防水性の衣料・繊維製品は、洗濯・脱水槽には絶対に入れない

防水性の衣類は水を通さないため、洗濯・脱水をしても衣類の中に水が溜まっています。そのまま脱水をすると、溜まった水が急激に移動し、回転バランスが崩れて異常振動が発生することがあります。

脱水時の異常振動により、洗濯物が飛び出したり、衣類が損傷したり、洗濯機や周囲の壁や床などを破損することがあります。

また、洗濯機が転倒することもあります。

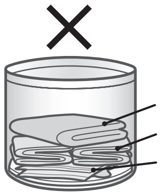
防水性・繊維製品の例

釣具ウェア、スキーウェア、雨ガッパ、寝袋、サウナスーツ、ウェットスーツ、ウィンドブレーカー、紙おむつ、おむつカバー、自転車・バイク・自動車カバー、カーペット、防水性マット・シート、足ふきマットなど硬くて厚いものなど
(洗える表示があっても洗わないでください)

●毛布などの大物の洗濯物を折りたたんだまま重ねた状態で洗濯・脱水槽には絶対に入れない

折りたたんだ衣類の固まりが、脱水中に突然バランスをくずし、異常振動が発生するおそれがあります。脱水時の異常振動により、洗濯物が飛び出したり、衣類が損傷したり、洗濯機や周囲の壁や床などを破損することがあります。

また、洗濯機が転倒することもあります。



●一辺が40cm以上の大きな洗濯ネットを使用しない

異常振動や洗濯物の片寄りの原因になります。

けがを防ぐために

●ロックされた状態のふたを無理に開けない

接触禁止

●運転中は本体の下に手足などを入れない

●ふたは取っ手を持って開閉する、無理に開閉をしない、本体に手を置いてふたの開閉をしない

無理な力で開閉すると、ふたや部品の破損につながることがあります。

本体に手を置いてふたの開閉をすると、ふたと本体の間に指や手を挟むおそれがあります。

水漏れを防ぐために

●洗濯前は水栓(蛇口)を開いて、水漏れがないか確認する

ねじの緩み、水栓(蛇口)のパッキンや金属部などが、長年使用していると経年劣化やさびなどにより水漏れに至るおそれがあります。

●使用しないときは、水栓(蛇口)を閉じておく

●据え付け直後や移設直後など、水栓(蛇口)接続を変えたあとは、まず水栓(蛇口)を開いて、水漏れがないか確認する

⚠注意

洗濯物の損傷を防ぐために

●ふたを閉めるときに洗濯物を挟まない

●洗濯物のひもなどは結び、ファスナーやボタンを閉めてから洗濯・脱水槽に入れる

本体の損傷や故障、水漏れを防ぐために

●本体の上にのぼったり、重いものを載せたりしない

●運転途中で洗濯物を追加する場合は、入れ過ぎない

洗濯物の量が自動計測されたあとに衣類を追加すると、適切な水量とならないため、本体の故障のおそれがあります。

●洗剤を入れ過ぎない

排水口から泡があふれ、水漏れするおそれがあります。

●硬貨やヘアピン、つまようじなどの先のとがったものなどを洗濯・脱水槽内に入れない

洗濯物のポケットの中なども確認して、ある場合は取り除いてから洗濯・脱水槽内に入れてください。

●給湯機からの温水を使用しない

● 50℃以上のお湯を使用しない

●別売り部品の洗濯機用防水パン・洗濯機用トレー→(P.56)を設置する

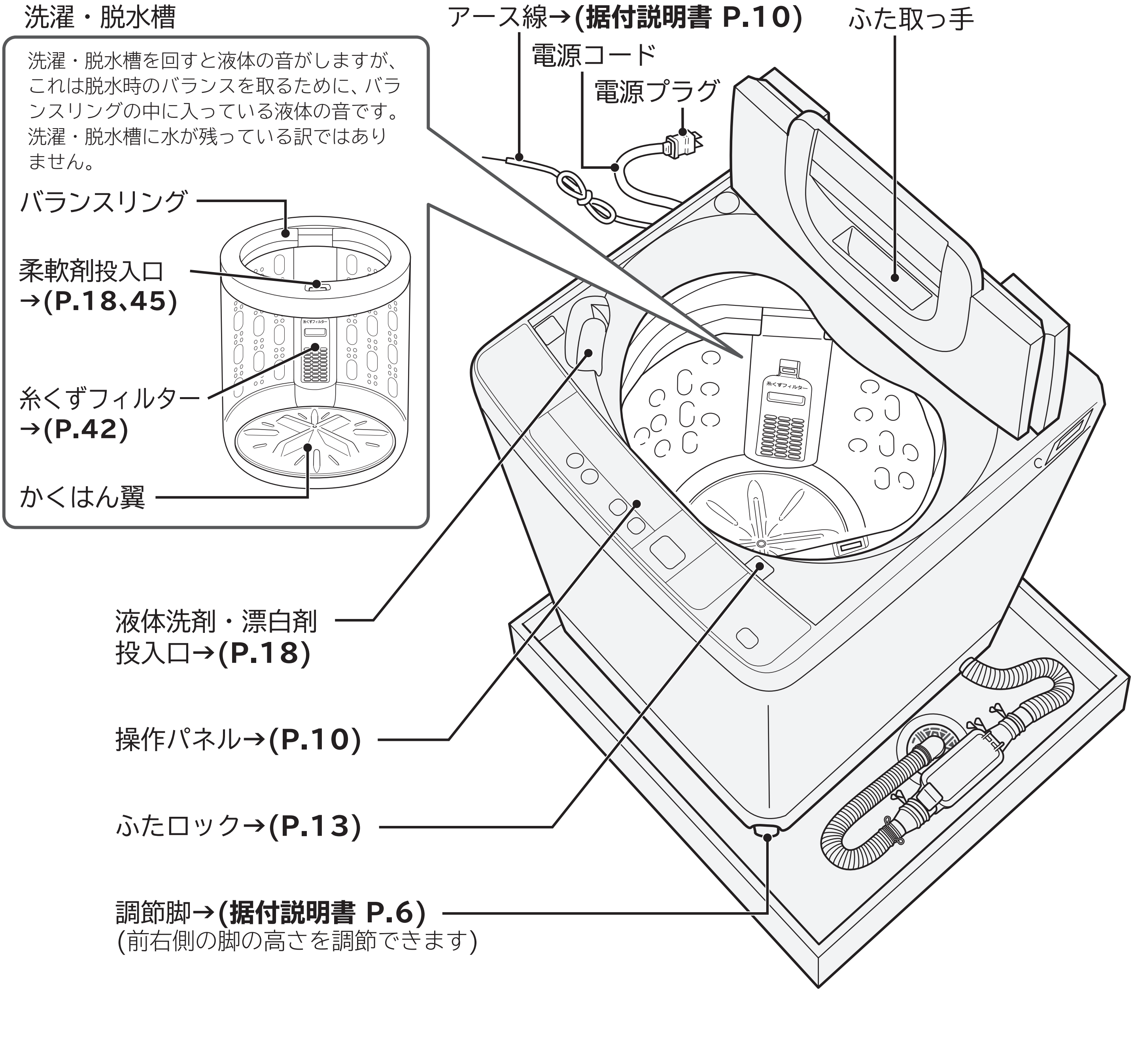
水漏れや結露により、床面がぬれたり汚れたりするおそれがあるため、洗濯機用防水パン・洗濯機用トレーをお買い求めいただき、設置することをおすすめします。

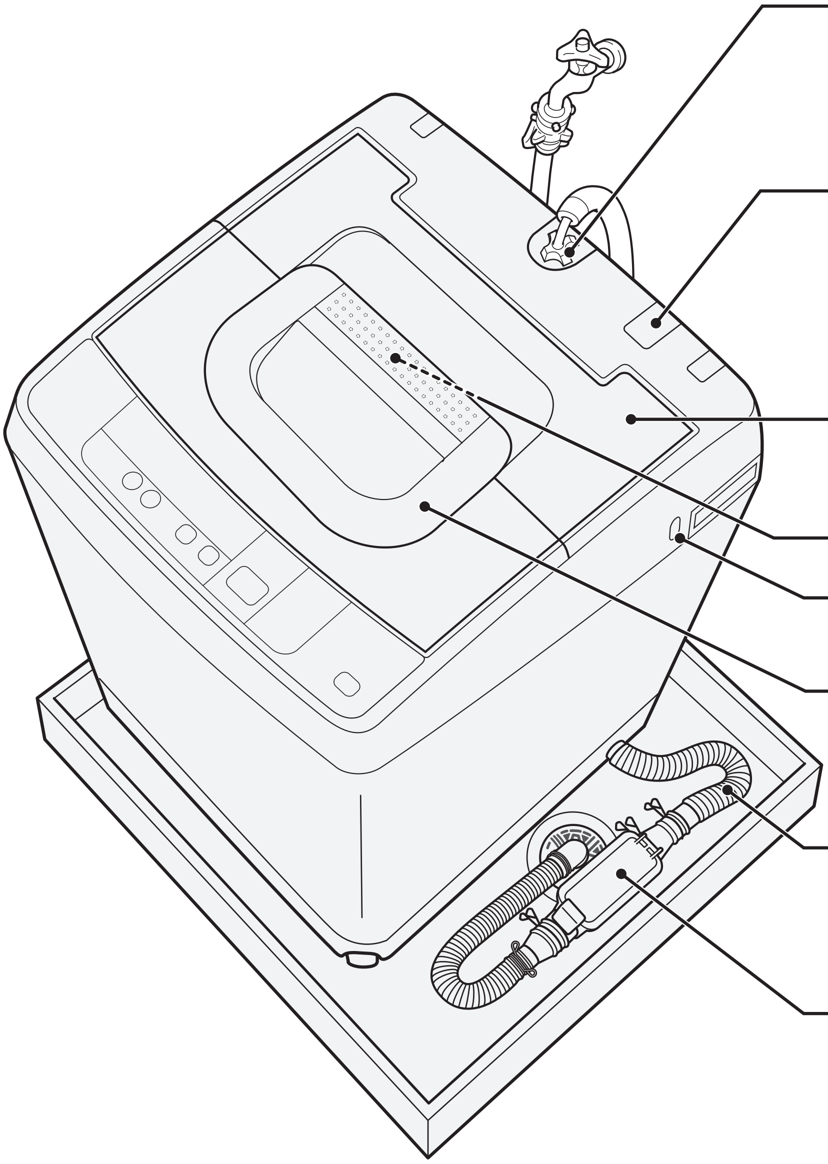
●断水後や、一度給水ホースを外して再度取り付けた場合、長期間使用しなかった場合は、水栓(蛇口)を閉めて「槽洗浄」を選び、スタートボタンを押してからゆっくり水栓(蛇口)を開く

給水ホース、水道配管に空気がたまり、圧縮された空気圧によって本体が破損し、水漏れやけがのおそれがあります。

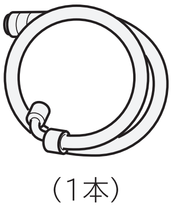
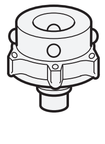
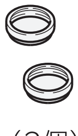
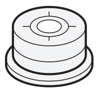
各部のなまえ・付属品

使用する前に、本体各部のなまえと付属品を確認してください。
→(P.○○)カッコ内の数字は主な説明のあるページを示しています。





付属品

水栓(蛇口)との接続に使用します		本体を水平に据え付けるときに使用します	本体の水平を確認するときに使用します
給水ホース (約0.8m) →**(据付説明書 P.13)**  (1本)	ワンタッチつぎて →**(据付説明書 P.12)**  (1個)	脚キャップ (高さ調整用) →**(据付説明書 P.6)** 5mm  (2個)	水準器 ※水準器は洗濯機専用です。 →**(据付説明書 P.6)**  (1個)

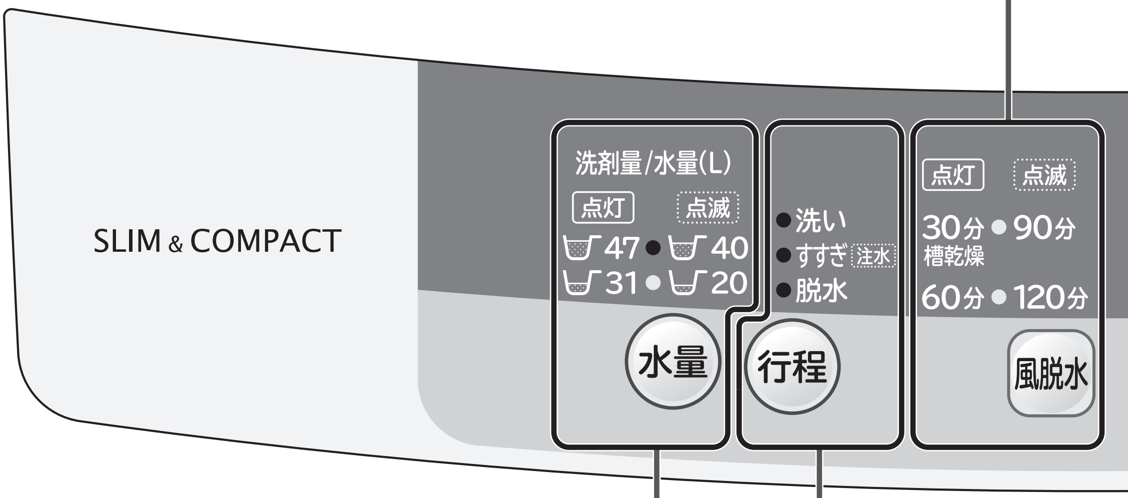
操作パネルのはたらき

風脱水／槽乾燥
→(P.36、38)

「風脱水」ボタンを押すと、「風脱水」の時間と、「槽乾燥」を選ぶことができます。

洗濯コースを選ぶ
→(P.21)

「コース」ボタンを押すと、選んでいるコースが点灯します。



水量を選ぶ
→(P.33)

水量を選ぶことができます。

●「標準」コースの自動設定で表示される水量は、20～47Lです。

運転内容を変える
→(P.32～35)

「洗い」「すすぎ」「脱水」の設定を変更することができます。
コースによっては、変更できないこともあります。

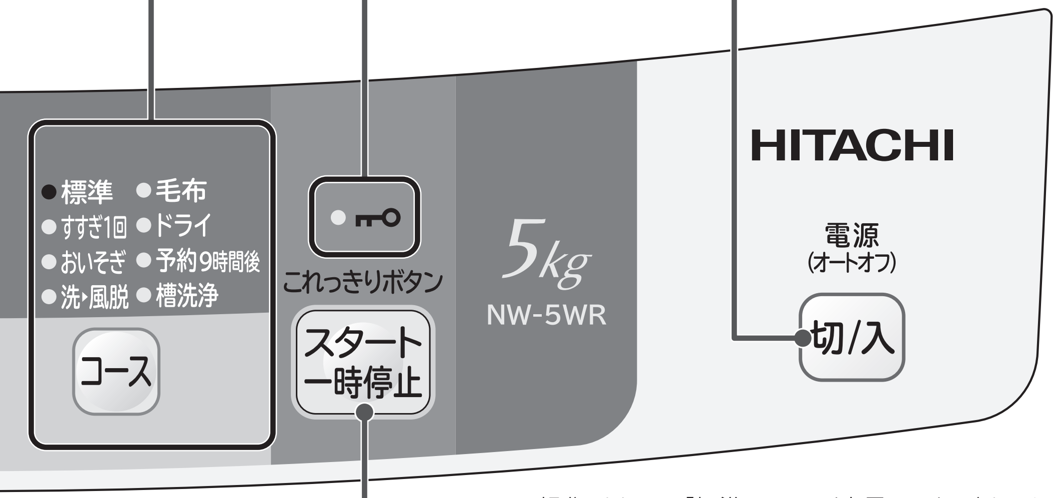
スタート一時停止 部は、「便利な使いかた」の設定をすることができます。→**(P.40、41)**

ふたロック表示
→(P.13)

(ふたロック)
- ふたがロックされている間、点滅します。

電源

電源の入・切を行います。
- 運転が終了すると自動で電源が切れます。
- 電源を入れたままスタートさせずに20分間経過すると、自動で電源が切れます。(電源オートオフ)



※操作パネルは「標準」コース(水量47L)の例です。

スタート／一時停止
→(P.13)

スタートや一時停止を行います。
- 一時停止の状態で1時間以上放置すると、自動で電源が切れます。

表示について

設定や行程などを点灯と点滅でお知らせします。

消灯表示 …… ○
点灯表示 …… ●
点滅表示 …… ●(点滅)

操作パネルの点字表記について

目の不自由なかたでも操作部の位置がわかる「点字シール」(操作部にはり付けます)をご用意しています。
ご希望の方は、お客様相談センターへお問い合わせください。→(P.60)

使用上のご注意

よくお読みのうえ、正しくお使いください

●運転中は電源プラグを抜かない（本体の故障のおそれ）
「一時停止」ボタンを押し、電源を切り電源プラグを抜いてください。

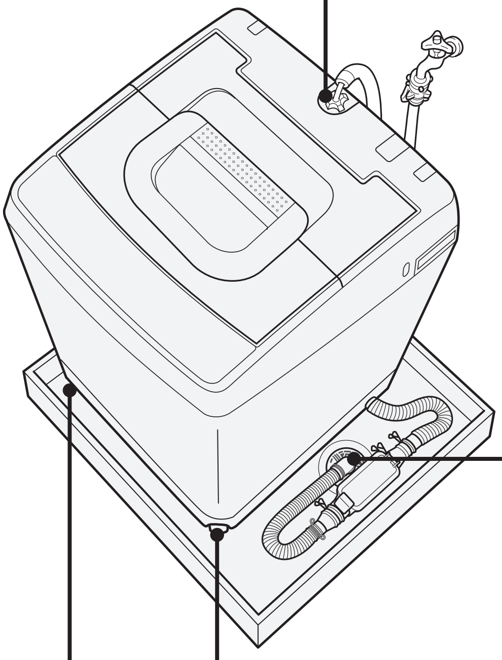
●本体にテレビやラジオを近づけない（画面が乱れたり、雑音が入ったりするおそれ）
ラジオの近くで運転させると雑音が入り、放送が聞きにくくなることがあります。
本体とテレビやラジオを離れたコンセントに差し込み、2m以上離してください。

●洗濯物を入れ過ぎない
（洗濯物のはみ出しにより、洗濯物や本体のプラスチック部品の破損のおそれ）
（洗濯時間が長くなったり、洗いムラが発生したりするおそれ）

●風脱水運転中は十分に換気をする

据え付け状態の確認

水漏れ・排水異常などの問題があるときは、お買い上げの販売店または設置された業者にお問い合わせください



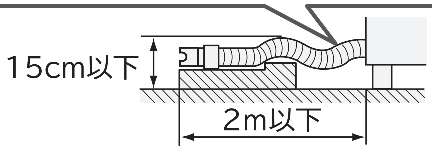
水漏れが発生したとき

●水栓(蛇口)の接続は、付属品のワンタッチつぎて→**(P.9)**を使用していますか？
●接続部分に緩みやぐらつきはありませんか？
●給水ホースの本体接続時、ユニオンナットと給水ホースを一緒に回して、給水口に取り付けましたか？ →**(据付説明書 P.13)**
●水栓(蛇口)のパッキンや金属部などに劣化やさびが発生していませんか？

排水異常が発生したとき

●排水ホースの高さは、15cm以下になっていますか？
●排水ホースが、排水口に取り付けられていますか？→**(据付説明書 P.8)**

敷居を越えるときは、高さ15cm以下、
排水ホースの全長を2m以下に



お知らせ表示(（行程）の「すすぎ」と（コース）の全点滅)が表示されたとき

●排水口が掃除できるように本体を設置し、排水口(排水トラップ)は月１回を目安にお手入れされていますか？→**(P.43)**
●排水口に糸くずがたまりやすい場合や、掃除しにくい場合は、別売り部品の糸くずボックス→**(P.56)**をお買い求めいただき、設置することをおすすめします。

脱水時の停止や、異常音・振動が発生したとき

●本体が水平に設置されていますか？
●水準器の気泡が円の中に入っていますか？
→**(据付説明書 P.6)**

ふたの開閉について

安全のため、運転終了までふたが開かないように自動でふたロックが設定されます。

ふたの開けかた

運転中にふたを開ける場合は、「一時停止」ボタンを押し、ふたロックを解除してから開けてください。
無理にふたを開けると、ふたロックが故障するおそれがあります。

運転中にふたを開ける

	操作パネルの「ふたロック」表示	
すすぎ・脱水中	(点滅)	「毛布」「ドライ」コース、「チャイルドロック」設定時は、洗い運転中もロックされます。
スタート一時停止 を押す	○ (消灯)	「一時停止」ボタンを押すと、運転が一時停止されます。洗濯・脱水槽の回転が止まると、ふたロックが解除され、ふたを開けることができます。
スタート一時停止 を押す	(点滅)	運転を再開する場合は、「スタート」ボタンを押します。ふたロックが設定され、運転が始まります。すすぎのかくはん動作中に一時停止をした場合、運転再開後にふたロックはされません。(○ ：消灯)脱水回転が始まる前にふたロックされます。(：点滅)

運転途中で電源を切ると、ふたロックが設定されたままの状態で運転が終了します。
「電源」ボタンを押して電源を入れ、5秒程度待ち、ふたロック表示が消灯 ○ したことを確認してから、ふたを開けてください。

チャイルドロックの設定

洗濯時に子どもがふたを開けたり、誤って洗濯・脱水槽内に落ちないように、強制的にふたをロックして、開かないようにすることができます。

1 ふたを閉め、切/入 を押し、電源を入れる

2

設定するとき	解除するとき
行程 を3秒以上押す　点滅	行程 を3秒以上押す　消灯
「ピッピッピッピー」と鳴り、設定される	「ピッピッピッピッ」と鳴り、解除される

3 切/入 を押し、電源を切る

●運転が終了すると、設定が解除されます。運転のたびに設定してください。

ふたの閉めかた

ふた取っ手を持って、しっかり閉めてください。
しっかり閉めないとふたロックが設定されず、危険防止のため運転が始まりません。

洗濯物の準備と確認

洗濯物に付いている取扱絵表示や注意表示を確認してください。

洗濯も風脱水運転もできないもの

次のような洗濯物は、洗濯も風脱水運転もできません。
洗濯物の縮み、形くずれ、変色、損傷、風合い劣化などのおそれがあります。

- ●洗濯絵表示 や ドライ セキユ系 の表示があるもの
- ●取扱絵表示や素材表示が付いていないもの
- ●皮革・毛皮・羽製品、それらの装飾品付き製品
- ●和服、和装小物製品
- ●ネクタイ、スーツ、コート
- ●レーヨン、キュプラ、それらの混紡品
- ●シルク製品
- ●ベルベットなどのパイル地製品
- ●コーティング加工、樹脂加工、エンボス加工の製品
- ●毛100%または毛足10mm以上の毛布やカーペットカバー
- ●強撚糸(強くよじった糸)を使用したウールやちりめんなどの製品

洗濯物が片寄りやすく、異常振動による本体の故障、けが、洗濯物の破れなどのおそれがあります。

- ●防水性製品 →(P.6)
  洗濯物に洗える表示があっても、洗わないでください。
- ●玄関マット、ラグマット、敷物
  - ・裏面にゴムが付いているもの
  - ・厚手のもの
  - ・毛足の長いもの
- ●カーペット
- ●座布団や枕、クッションなど
- ●洗濯補助具(洗濯ボール、ゴミ取りフィルターなど)
- ●ペットの毛が多量に付着したもの

風脱水運転できないもの

次のような洗濯物は、風脱水運転できません。
洗濯物の縮み、しわつき、変色、損傷、風合い劣化などのおそれがあります。

- ●ゴムやウレタンなどを使用した製品
- ●ウレタン(スポンジ類)の入ったぬいぐるみなど
- ●布団類などわたを使用した製品
- ●ウールなどの獣毛およびその混紡製品
- ●レースや刺しゅうなど飾りや付属品のある製品
- ●濃い色のプリントもの
- ●次のような取扱絵表示が付いているもの

ドライ	ドライクリーニングができる
	つり干しがよい
ヨワク	弱くしぼるのがよい
	しぼってはいけない

上手に洗濯をする

洗濯物の片寄りを防ぐ

脱水時に洗濯物の片寄りが起こると、自動で片寄りを修正する動作を行うため、運転時間が長くなります。
また、脱水中に振動が大きくなり、運転が途中で止まる場合があります。
洗濯物の片寄りを防ぐには、次のようなことに注意してください。

洗濯物を洗濯・脱水槽の中に入れるときは	●重いものが片寄らないように、洗濯物は洗濯・脱水槽の外側に均一に広げて入れてください。 ●洗濯物を詰め込み過ぎないでください。
洗濯ネットを使うときは	●洗濯ネットには洗濯物を詰め込み過ぎないでください。 汚れ落ちが悪くなります。 ●洗濯ネットのファスナーは閉めてください。 洗濯物を傷める場合があります。 ●一辺が40cm以上の大きな洗濯ネットを使用しないでください。 異常振動や洗濯物の片寄りの原因になります。
大物(シーツ、タオルケット)や厚手の洗濯物(ジーンズ、柔道着、つなぎなど)、洗濯ネットに入れた洗濯物は	●一つだけでは洗濯しないでください。 2、3枚一緒に洗うか、ほかの洗濯物と一緒に洗ってください。 ●先に洗濯・脱水槽に入れてから、ほかの洗濯物を入れてください。

洗濯物の重さの目安

洗濯物の重さを確認するための目安です。
洗濯物の素材や大きさにより、実際の重さは異なりますので注意してください。

	肌着類	シャツ・ズボン類	タオル・寝具類
50g	ブリーフ、靴下		
100g	肌着		タオル
200g		ワイシャツ	
300g			バスタオル
400g		パンツ、スカート	パジャマ上下
500g			シーツ

洗濯物の重さの目安は、一般財団法人日本電気工業会・自主基準によるものです。

洗剤や柔軟剤の使いかた

洗剤や柔軟剤は、手順に従い、適量を投入口に入れてください。

洗濯物の量の計測と水量表示

洗濯物の量は自動計測され、それに合わせた水量が表示されます。

1 洗濯物を洗濯・脱水槽に入れる

2 電源を入れ、運転するコースを選び、

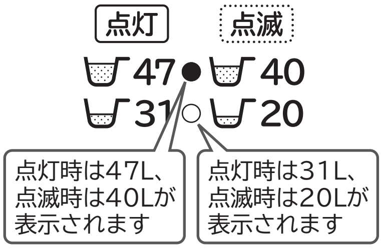
を押す

かくはん翼と洗濯・脱水槽が回転し、洗濯物の量が自動計測されます。

あらかじめ水が入っている場合や、「毛布」「ドライ」コースを設定した場合は、洗濯物の量は自動計測されません。

洗濯物の量に合わせた水量が表示されます。

洗剤量/水量(L)



「標準」コース(水量47L)の例

3 右表を参考に洗剤、液体漂白剤、柔軟剤を入れ、ふたを閉める

洗剤・液体漂白剤・柔軟剤の入れかた→(P.18)

ふたが開いていると給水されません。
ふたを閉めると給水が始まります。

洗濯物の量(目安)	水量	洗剤量(目安)表示
~5kg	47L	
2.5~3.5kg	40L	
1.5~2.5kg	38L※ (水量の表示は40Lです)	
0.5~1.5kg	31L	
~0.5kg	20L	

※「おいそぎ」コース運転時の水量です。

洗剤および洗濯物の量

●香りの強い柔軟剤を使用すると、においが気になる場合があります。

●表の洗濯物の量は、JIS（日本工業規格）で規定された布地を洗濯した場合のものです。
洗濯物の種類、大きさ、厚さなどによって洗濯物の量が変わります。
通常の洗濯物では洗濯物の量の目安は7～8割が適当です。

洗剤・液体漂白剤・柔軟剤量

操作パネルに表示された水量表示に従って、使用する洗剤・液体漂白剤・柔軟剤の使用量を確認し、適量を投入口に入れてください。

合成洗剤						石けん(天然油脂)		液体漂白剤	柔軟剤			
粉末		液体			液体中性	粉末	液体		濃縮			普通
(水30Lあたり)		(水30Lあたり)			(水30Lあたり)	(水30Lあたり)		(水30Lあたり)	(水30Lあたり)			
20g	25g	10mL	20mL	25mL	40mL	36g	40mL	40mL	4mL	7mL	10mL	20mL
アタック	アタック リセットパワー ニュービーズ ボールド トップ 部屋干しトップ 消臭ブルーダイヤ	トップハイジア 香りつづくトップ アロマプラス ウルトラ アタックネオ トップナノックス アリエール スピードプラス	アリエール イオンパワー ジェル トップ クリア リキッド	フレグランス ニュービーズ ジェル アタック バイオジェル 香りつづくトップ	エマール アクロン	そよ風	洗濯用 液体複合 石けん	手間なし ブライト ワイド ハイター	ハミング Neo	ハミング (濃縮タイプ) ふんわり ソフラン	ハミングフレア しわスッキリ ソフラン 香りとデオドラントのソフラン	ハミング レノア プラス
31g	39g	16mL	31mL	39mL	63mL	56g	63mL	63mL	6mL	11mL	16mL	31mL
27g	33g	13mL	27mL	33mL	53mL	48g	53mL	53mL	5mL	9mL	13mL	27mL
25g	32g	13mL	25mL	32mL	51mL	46g	51mL	51mL	5mL	9mL	13mL	25mL
21g	26g	10mL	21mL	26mL	41mL	37g	41mL	41mL	4mL	7mL	10mL	21mL
13g	17g	7mL	13mL	17mL	27mL	24g	27mL	27mL	3mL	5mL	7mL	13mL

- 家庭用品品質表示法の改正に伴い、メーカーにより洗剤の標準使用量(水30Lに対し○○g)が表示されていないこともあります。
  また、洗剤の種類により、スプーンまたはキャップ1杯の洗剤量が異なりますので、洗剤の容器に表示されている「使用量の目安」を参考にしてください。
- 軽い汚れの場合は、上の表の半分程度(5～6割)が適当です。

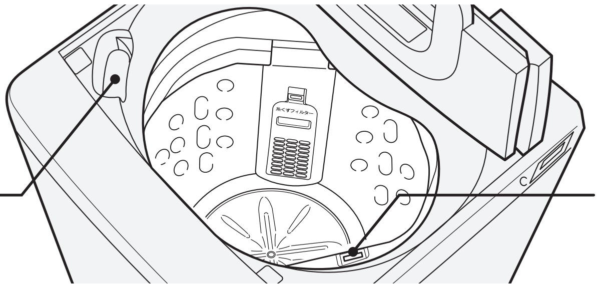
洗剤や柔軟剤の使いかた　つづき

洗剤・液体漂白剤・柔軟剤の入れかた

粉末洗剤は洗濯・脱水槽、液体洗剤・液体漂白剤は液体洗剤・漂白剤投入口、柔軟剤は柔軟剤投入口に正しく入れてください。

液体洗剤・漂白剤投入口・柔軟剤投入口

投入口が異なります。



●天然粉末石けん、複合石けんを使う場合は、洗濯・脱水槽に入れてください。
石けん(天然油脂)の入れかた→**(P.19)**
●柔軟剤投入口が汚れたときは、水洗いしてください。お手入れのしかた→**(P.45)**

粉末洗剤・液体洗剤・液体漂白剤・柔軟剤を入れる手順

1

操作パネルに水量が表示されたあと

〈粉末洗剤〉

洗濯・脱水槽に入れる

洗剤は、洗濯物の外周に均一に回し入れてください。
洗剤量は洗剤量(目安)表示に従って入れてください。→**(P.16)**

〈液体洗剤〉

液体洗剤・漂白剤投入口に入れる

洗剤量は洗剤量(目安)表示に従って入れてください。→**(P.16)**

●洗剤を入れ過ぎると、故障や水漏れの原因になります。
●柔軟剤投入口に、洗剤を入れないでください。
故障の原因になります。
●粘性の高い液体洗剤は、洗剤残りを少なくするため、水で薄めてから投入口に流し込んでください。
●タブレット、シート、キューブタイプなどの洗剤を使用する場合は、よく溶かしてから直接、洗濯・脱水槽内に入れてください。
●ジェルボールなどの洗剤は、直接、洗濯・脱水槽に入れてください。

2

(必要に応じて)

液体漂白剤を液体洗剤・漂白剤投入口に入れる

●使用量および使いかたは、漂白剤の表示に従ってください。
●液体漂白剤は直接、洗濯物にかけないでください。変色、布破れの原因になります。
●塩素系の漂白剤を洗濯・脱水槽に入れたまま、長時間放置しないでください。

3

(必要に応じて)

柔軟剤投入口に柔軟剤を入れる

●柔軟剤を入れ過ぎないでください。(最大31mL以下)
●次のような洗剤や柔軟剤は、においが気になる場合があります。
・香りの強いもの　　　・粘性の高いもの
次のことをお試しください。
・洗剤や柔軟剤の使用量を減らしてください。
・香りの強いもの以外をお試しください。
・「槽洗浄」で、洗濯・脱水槽を洗い流してください。→**(P.38)**
●柔軟剤を入れたまま長時間放置しないでください。固まってしまう場合があります。
●柔軟剤が入れにく場合は、洗濯・脱水槽を投入口の反対側に寄せてください。

石けん（天然油脂）の入れかた

次のいずれかの方法でよく溶かしてから、直接、洗濯・脱水槽に入れてください。

バケツなどで溶かす

1 **バケツなどに、30℃ぐらいのぬるま湯を約5L用意する**

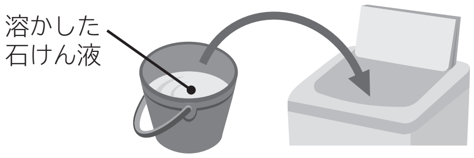
2 **ぬるま湯に石けん(天然油脂)を少しずつ入れながら、十分に溶かす**

石けん(天然油脂)が固まったり、粉が残ったりしないよう、十分溶かします。

3 **洗濯物を入れ、コースを選ぶ**

4 **[スタート一時停止] を押し、運転させる**

5 **溶かした石けん液を直接、洗濯・脱水槽に入れ、運転を続ける**



直接、洗濯・脱水槽で溶かす

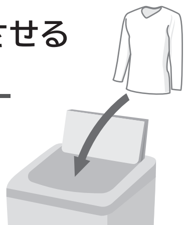
1 **[切/入] を押し、電源を入れ、[コース] を押し、「標準」コースを選ぶ**

2 **[水量] [行程] を押し、水量「31L」、「洗い」のみを設定する →(P.32)**

3 **[スタート一時停止] を押し、運転させる**

4 **給水後、かくはんが始まったら、[スタート一時停止] を押し、一時停止させる**

5 **石けん(天然油脂)を洗濯・脱水槽に入れ、[スタート一時停止] を押し、運転を再開させる**



6 **運転終了後、洗濯物を入れ、コースを選ぶ**

7 **[スタート一時停止] を押し、運転させる**

洗いのとき、あらかじめ水が入っているので、水量が多めになります。

次の場合は石けん(天然油脂)を使用しないでください。

●「予約9時間後」コースのとき

洗濯・脱水槽で固まるおそれがあります。

●「毛布」「ドライ」コースのとき

つけおき洗いにより、黒ずみや黄ばみの原因になります。

- ●石けん(天然油脂)を使うとき、合成洗剤を約1割混ぜると、石けんかす(金属石けん)の発生を抑えることができます。
- ●石けん(天然油脂)は合成洗剤に比べ洗濯物に残りやすいので、すすぎを十分に行ってください。すすぎが十分でないと黄ばみ・においの原因や変色することがあります。
- ●石けん(天然油脂)は石けんかすが発生しやすいため、1か月に一度を目安に日立純正洗濯槽クリーナーを使い、「槽洗浄」コースで洗濯・脱水槽を洗い流してください。→**(P.38)**
- ●使用量が多過ぎたり、低温の水に直接入れると、完全に溶けない石けんかすがホースや洗濯・脱水槽の内側に付着し、浮き上がって洗濯物を汚すことがあります。
- ●合成洗剤のみの場合は、「直接、洗濯・脱水槽で溶かす」に記載の方法で運転しないでください。泡による弊害が起こる場合があります。
- ●液体石けん(天然油脂)は、水で溶かしたまま放置しないでください。固まるおそれがあります。

洗濯のりの使いかた

洗濯できる洗濯のりは、化学合成のり(酢酸ビニール系、PVAc)と表示されているものに限ります。

洗濯のりの入れかた

- 上記以外の洗濯のりは、故障の原因になります。使用する前に成分表示を確認してください。
- PVA(ポリビニルアルコール)は使用しないでください。十分なのり付けができない場合や、故障の原因になります。

のり付け運転の手順

のりを溶かす

1. 切/入 を押し、電源を入れ、コース を押し、「標準」コースを選ぶ
2. 水量 行程 を押し、水量「31L」、「洗い」のみを設定する→**(P.32)**
3. スタート一時停止 を押し、運転させる
4. 給水が始まったら スタート一時停止 を押し、一時停止させる
5. 直接、洗濯・脱水槽に洗濯のりを入れ、スタート一時停止 を押し、運転を再開させる
   運転終了後、洗濯のりが溶けたことを確認します。

のり付けをする

6. のり付けしたい洗濯物(1.0kg以下)を入れる
   洗濯物の重さの目安→**(P.15)**
7. 切/入 を押し、電源を入れ、コース を押し、「標準」コースを選ぶ
8. 水量 行程 を押し、「水量」、「洗い」、「脱水」を設定する→**(P.32)**
   水量は洗濯物の量に応じて設定してください
9. スタート一時停止 を押し、運転させる
10. 洗濯物を取り出す

洗濯・脱水槽をすすぐ

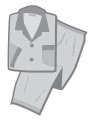
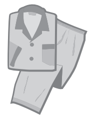
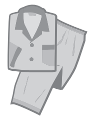
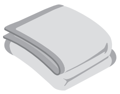
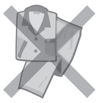
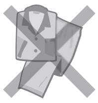
のり付け運転終了後に

11. 切/入 を押し、電源を入れ、コース を押し、「標準」コースを選ぶ
12. 水量 を押し、「47L」を設定する
13. スタート一時停止 を押し、運転させる

念入りに洗い流したいときは

11. 切/入 を押し、電源を入れ、コース を押し、「槽洗浄」を選ぶ→**(P.38)**
    洗剤、洗濯物は入れないでください。
12. スタート一時停止 を押し、運転させる

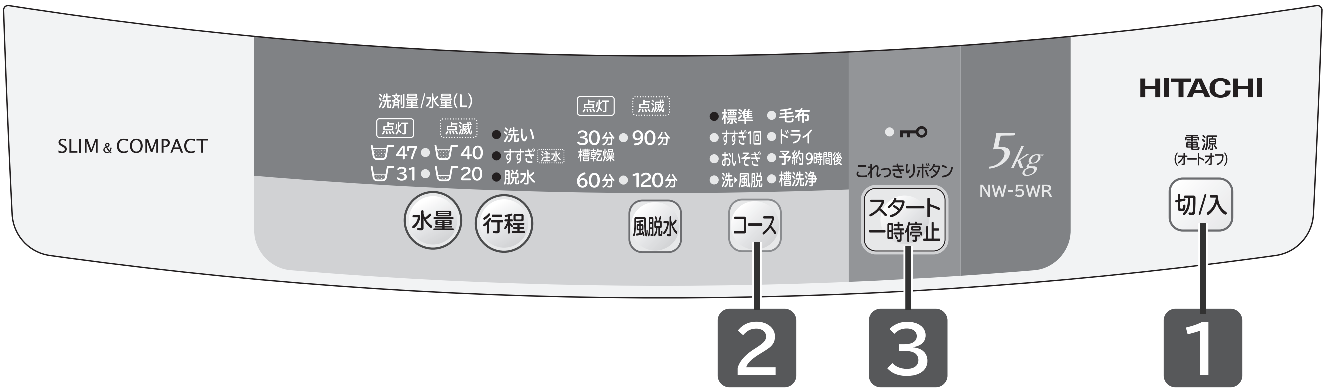
運転コースの選びかた

コース・運転	洗濯物の種類	運転方法（最大洗濯・風脱水容量）			おすすめ洗剤→(P.17)（槽乾燥、風脱水は除く）
		洗濯	洗▸風脱	風脱水	
標準	普段の洗濯物 ・パジャマ ・肌着など 	5kg	ー	ー	粉末合成洗剤 または 液体合成洗剤
すすぎ1回	すすぎ１回の専用洗剤で洗濯したいもの ・ワイシャツ ・パジャマなど	5kg	ー	ー	すすぎ1回 専用洗剤
おいそぎ	軽い汚れを短時間で洗濯したいとき ・パジャマ ・肌着など 	2.5kg	ー	ー	(スピードコース用) 粉末合成洗剤 または 液体合成洗剤
洗▸風脱	普段の洗濯物を、洗濯・風脱水したいとき ・普段の洗濯物 	ー	5kg	ー	粉末合成洗剤 または 液体合成洗剤
毛布	毛布を洗濯したい ・アクリル毛布 ・ポリエステル毛布 	2.4kg	ー	ー	液体合成洗剤
ドライ	ドライマーク付きの洗濯物 ・スカート ・セーターなど	1kg	ー	ー	ドライマーク 衣類専用洗剤 または 液体中性洗剤
予約9時間後	出かけている間や、夜間に運転させたいときに	5kg	ー	ー	粉末合成洗剤
槽洗浄	洗濯・脱水槽の汚れやにおいが気になるとき ・洗濯物は入れないでください。 	11時間	ー	ー	日立純正洗濯槽 クリーナー または 衣類用塩素系漂白剤
槽乾燥	洗濯・脱水槽のカビの発生を防止したいとき ・洗濯物は入れないでください。 	ー	ー	30分	ー
風脱水	少量の洗濯物の仕上げや、熱に弱い素材(化繊)の洗濯物を風脱水するとき ・ランジェリーなど	ー	ー	化繊：1kg	ー

洗濯する／洗濯～風脱水する

洗濯するときの手順です。お好みのコースを選ぶことができます。

使いかた



準備	**水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.14、15)**
1	**切/入 を押し、電源を入れる**
2	**コース を押し、コースを選ぶ** 押すごとにコースが選べます。
3	**スタート 一時停止 を押す** 洗濯物の量が自動計測され、水量が表示されます。→**(P.16)** 洗濯・脱水槽にあらかじめ水が入っている場合や、「毛布」「ドライ」コースでは自動計測されません。
4	水量表示に従って、 **洗剤、漂白剤、柔軟剤を入れてふたを閉める→(P.16～18)**
5	運転終了後、洗濯物を取り出し、 **糸くずフィルターをお手入れする→(P.42)**

⚠注意

脱水異常振動によるけがや、故障などを防ぐために→(P.6)

- ●防水性のマット・シートや衣類、足ふきマット、玄関マットなど硬くて厚いもの、水を通しにくい繊維製品、カーペットは、洗い・すすぎ・脱水・風脱水をしないでください。
- ●毛布など大物の洗濯物を折りたたんだまま重ねた状態で洗濯をしないでください。
- ●一辺が40cm以上の大きな洗濯ネットを使用しないでください。

脱水時の異常振動により、洗濯物が飛び出したり、衣類が損傷したり、洗濯機や周囲の壁や床などを破損するおそれがあります。

詳細設定

コースを選んだあと、水量と行程ボタンで「すすぎ」の変更ができます。
お好みに合わせて設定してください。
(コースによっては変更・設定できないこともあります)

コース（最大洗濯容量）	水量	行程
標準 5kg	変更できる	注水すすぎを設定する場合「行程」ボタンを1回押す ※すすぎが点滅します
すすぎ1回 5kg	変更できる	設定できない
おいそぎ 2.5kg	変更できる	注水すすぎを設定する場合「行程」ボタンを1回押す ※すすぎが点滅します
洗▶風脱 5kg	変更できる	設定できない
毛布 2.4kg	変更できる	設定できない
ドライ 1kg	変更できる	設定できない
予約9時間後 5kg	変更できる	注水すすぎを設定する場合「行程」ボタンを1回押す ※すすぎが点滅します

洗▶風脱コース

標準コースで洗濯したあと、30分の風脱水で干し時間を短縮します。

■干し時間を短縮することを目的とした機能なので、運転終了後は部屋干し、または天日干しをしてください。
衣類の量・種類、気温・湿度、室内の換気状態、設置環境によって乾き具合に差が出ます。

毛布コースで洗濯する

毛布を洗うコースです。

●毛布を洗濯するときは、「毛布」コース以外では運転しないでください。毛布を傷めてしまうおそれがあります。

●別売りの「毛布洗いネット」をご使用になることをおすすめします。→**(P.56)**
毛布洗いネットを使用せずに洗濯すると、毛布を傷めたり、洗濯機が破損するおそれがあります。

●毛布を折りたたんだまま洗濯しないでください。→**(P.6)**
毛布のかたまりが脱水中にバランスをくずし、異常振動が発生するおそれがあります。
毛布の入れかたに従ってください。

●「毛布」コースでは、洗濯物の量は自動計測されません。

●液体洗剤以外は使用しないでください。粉末洗剤は溶け残るおそれがあります。

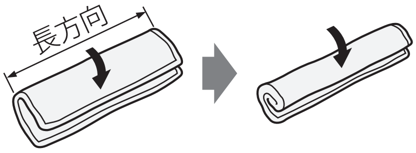
洗濯の準備

素　材	アクリル、またはポリエステル
取扱絵表示	手洗イ (弱い手洗いが良い)表示
サイズ	幅140cm×長さ200cm以下、1枚の重さが**2.4kg以下**
洗濯できないもの	●羊毛(ウール)やカシミヤ素材のもの ●電気毛布 洗濯できる電気毛布は、電気毛布の取扱説明書に従って洗濯してください。

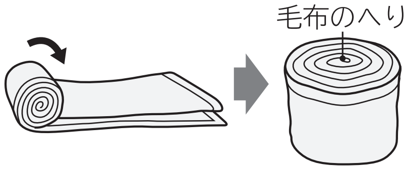
毛布洗いネットの使いかた

運転できる容量：1.5～2.4kg

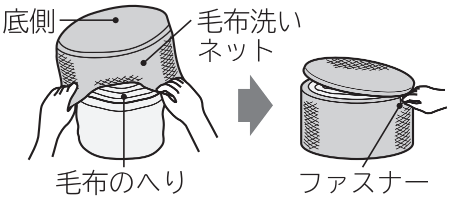
1 毛布を長方向に四つ折りにする



2 毛布の端から丸める



3 毛布洗いネットを図のように毛布にかぶせ、ファスナーを閉める

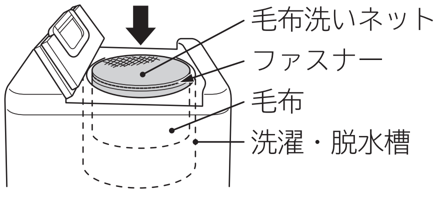


運転できる容量：1.5kg未満

毛布を四つ折りにせず、毛布の角から「毛布洗いネット」に少しずつ均等に入れてください。

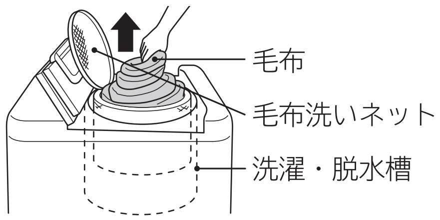
毛布の入れかた

ファスナーを上にして洗濯・脱水槽に入れてください。



毛布の取り出しかた

毛布洗いネットのファスナーを開け、毛布の中央部を引き上げ毛布だけ先に取り出します。

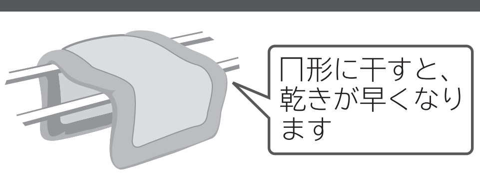


毛布の干しかた

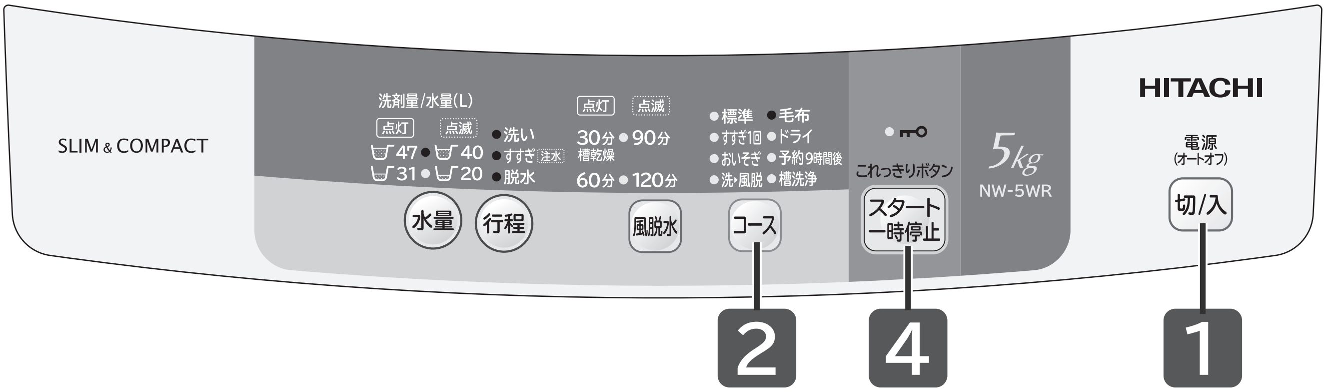
風通しのよいところで自然乾燥させます。

●時々裏返すと、乾燥がより効果的です。

●毛布は湿っているうちに、ブラシで一方向に毛並みをそろえると、きれいに仕上がります。



使いかた



準備	水栓(蛇口)を開け、毛布を入れる→(P.24)
1	切/入 を押し、電源を入れる
2	コース を押し、「毛布」コースを選ぶ 水量は自動的に「47L」になります。 **「水量」を変更する→(P.33)**
3	液体洗剤、柔軟剤を入れてふたを閉める→(P.16～18)
4	スタート一時停止 を押す
5	運転終了後、毛布と毛布洗いネットを取り出し、 **糸くずフィルターをお手入れする→(P.42)**

汚れのひどい部分は、あらかじめ液体洗剤または部分洗い用洗剤を塗布して汚れを落としてください。

ドライコースで洗濯する

手洗イ(弱い手洗いが良い)表示のデリケートな衣類や、ドライ(ドライクリーニングができる)表示の衣類を洗うコースです。

「ドライ」コースでは、洗濯物の量は自動計測されません。

洗濯の準備

洗濯できるもの

素　材	ウール、ポリエステル ●セーター、カーディガン　●ブラウス、シャツ、ワンピース ●スラックス、スカート　●学生服、セーラー服
取扱絵表示	●手洗イ(弱い手洗いが良い)表示 ●(洗濯機による洗濯ができる)表示 ●ドライ(ドライクリーニングができる)表示と、手洗イまたは表示の組み合わせ 上記の絵表示があっても、洗えないものがあります。→**(P.14)**
容量	**1.0kg以下**

洗濯できないもの	(水洗いはできない)表示のもの、 ドライ セキユ系(溶剤は石油系のものを使用する)表示のものは、洗濯機で洗濯できません。

使用する洗剤

取扱絵表示	使用する洗剤
ドライ(ドライクリーニングができる)	ドライマーク衣類専用の液体洗剤(エマール、アクロンなど)
手洗イ(弱い手洗いが良い)	ドライマーク衣類専用の液体洗剤(エマール、アクロンなど)
	液体中性洗剤(ナノックス、香りつづくトップなど)

●液体洗剤以外は使用しないでください。粉末洗剤は溶け残るおそれがあります。

洗濯物の前処理

洗濯物の準備

洗濯物の傷みを防ぐため、洗濯前に下記の準備をしてください。

●ボタンやししゅうがついている洗濯物は裏返しにしてください。
●ボタンやファスナーは閉めてください。
●洗濯後、縮みが大きくなった場合に備え、元の形に修正するための型紙を取っておくと便利です。

色落ちの確認

色落ちしそうな洗濯物は、あらかじめ色落ちの確認をしてください。

●白いタオルなどに洗剤液を含ませ、洗濯物の目立たない部分に強く押し当てて、洗濯物からタオルに色移りしないか確認してください。色移りがあった場合は、洗濯しないでください。
●色落ちしやすい洗濯物(スカーフ、外国製の衣類など)は、注意してください。

前洗い

**しみやひどい汚れは早めに処理してください。時間がたつと落ちにくくなります。
洗濯前に部分洗いなどで処理をしておくと、より効果的です。**

●しみの抜きかた

・洗濯物の裏にタオルを当て、洗剤の原液をつけてブラシなどで軽くたたいて落してください。
・しみのついた洗濯物は、3倍濃度の洗剤液につけ置きしてください。
・それでも落ちないしみ汚れには、漂白剤を使用してください。

漂白剤の種類

酸化型	**酸素系** (ワイドハイター、カラーブライトなど)	色・柄物に使えます。 粉末の場合は、毛・絹には使えません。
	塩素系(ハイターなど)	色・柄物には使えません。
還元型 **(ハイドロハイター)**	水中の鉄分で黄ばんだり、さびがついたりしたときや、ワイシャツのえりの芯地が黄変したときに使います。 色・柄物には使えません。	

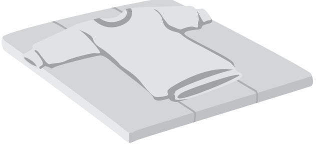
使用する前に漂白剤の容器に表示してある注意書きをよくご覧になり、正しく使用してください。

●えり、そで口などの脂汚れの落としかた

えり、そで口、すそやポケット回りの汚れは、洗剤の原液をつけて、ブラシで一定方向にこすってください。

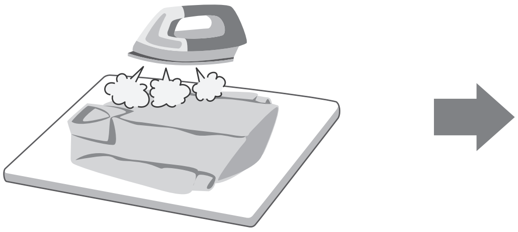
ドライコースで洗濯する　つづき

洗濯物の干しかた・仕上げかた

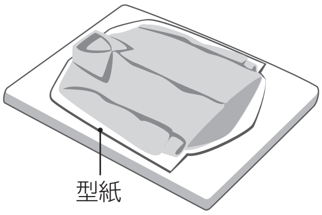


- ウールなどのセーターは、形を整えて日陰で平干しにします。
  お風呂のふたなどを使って平干しにすると形くずれを防ぐことができます。
- ブラウスやワンピースは形を整えて日陰でハンガーに干します。
- 洗濯後、縮みや形くずれが発生した場合は、次の方法をお試しください。

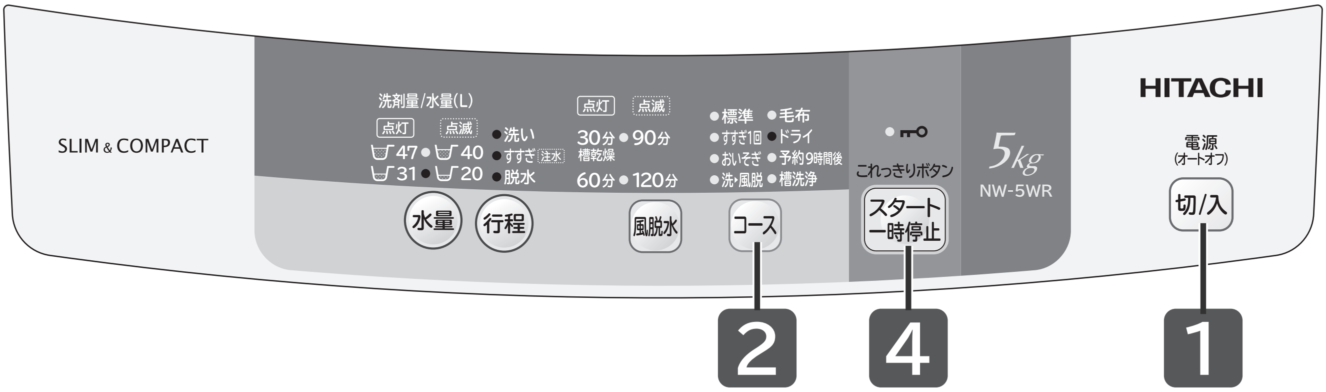
スチームアイロンを軽く浮かせてスチームをかけ、形を整えます。



スチームをたっぷり当てたあと、洗濯前にとっておいた型紙に合わせて、元の形まで伸ばし、形を整えます。



使いかた



準備	水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.26、27)

1 切/入 を押し、電源を入れる

2 コース を押し、「ドライ」コースを選ぶ

水量は自動的に「31L」になります。

「水量」を変更する→(P.33)

3 **液体洗剤、柔軟剤を入れてふたを閉める→(P.16～18)**

4 スタート一時停止 を押す

5 運転終了後、洗濯物を取り出し、

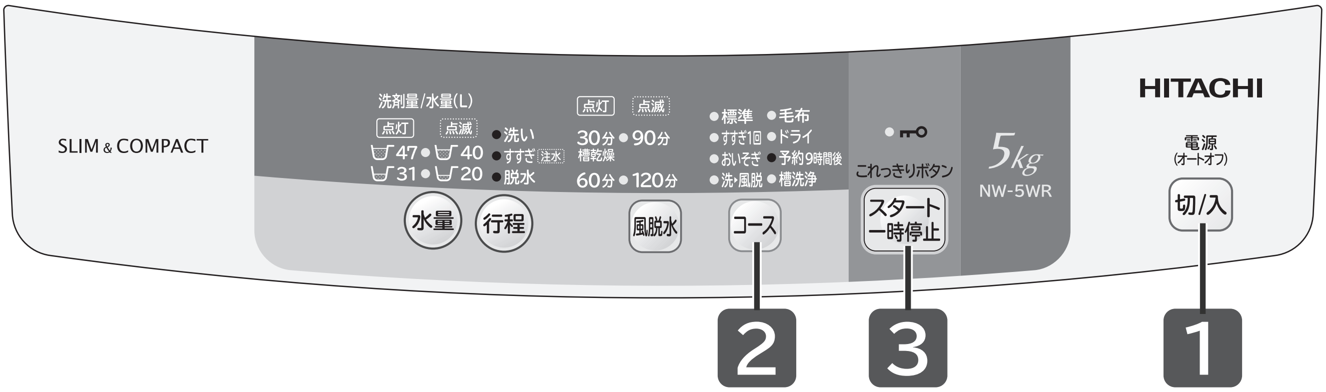
糸くずフィルターをお手入れする→(P.42)

お湯やお風呂の残り湯は使用しないで、水道水を使用してください。
洗濯物の縮みや、入浴剤の色が移るおそれがあります。

予約運転をする

出かけている間や、夜間に運転させたいときなどに便利です。

使いかた



準備 水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.14、15)

1 切/入 を押し、電源を入れる

2 コース を押し、「予約9時間後」コースを選ぶ

「水量」「すすぎ」を変更する→(P.32)

3 スタート 一時停止 を押す

洗濯物の量が自動計測され、水量が表示されます。→(P.16)
洗濯・脱水槽にあらかじめ水が入っている場合は自動計測されません。

4 水量表示に従って、

洗剤、漂白剤、柔軟剤を入れてふたを閉める→(P.16～18)

洗濯内容を表示したあと、「予約9時間後」コースが点灯します。

5 運転終了後、洗濯物を取り出し、

糸くずフィルターをお手入れする→(P.42)

詳細設定

運転終了予定時間を「9時間後」に予約することができます。
運転内容は「標準」コースと同じです。

こんなときには

予約内容の確認： **を押す**(押している間、予約内容が表示されます)

予約の取り消し： **を押し、電源を切る**
（電源プラグを抜いたとき、停電したときは、予約運転は取り消されます）

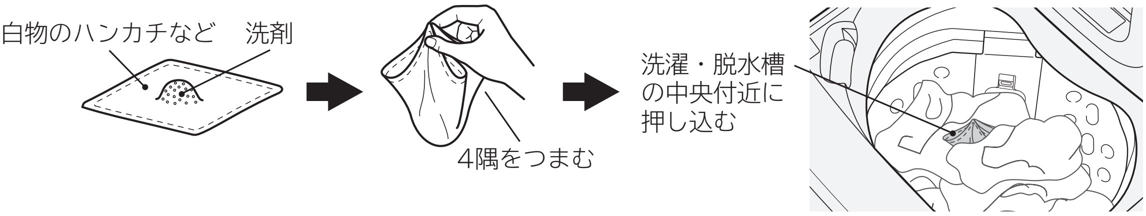
予約の変更　： **を押し、電源を切り、初めからやり直す**

洗濯物の追加　：電源を切らずに、洗濯物を入れる
（予約中の洗濯物の追加は、少なめにしてください。洗濯物を入れ過ぎると汚れ落ちが悪くなる原因になります）

- **洗濯物の量や質、給水量、排水条件により運転終了予定時間が変わることがあります。**
- **予約運転するときは、色移りしやすい洗濯物は一緒に洗濯しないでください。**
- 洗濯物のしわ防止のため、洗濯終了後はすぐに洗濯物を取り出し、できるだけ早く干してください。長時間放置すると、においの原因になります。
- 予約設定後に設定内容を変更して運転する場合は、一度洗濯・脱水槽内の水を排水してから運転してください。

洗剤の入れかた

粉末合成洗剤
白物のハンカチなどに包み、洗剤がこぼれないように洗濯・脱水槽の中央付近に押し込んでください。

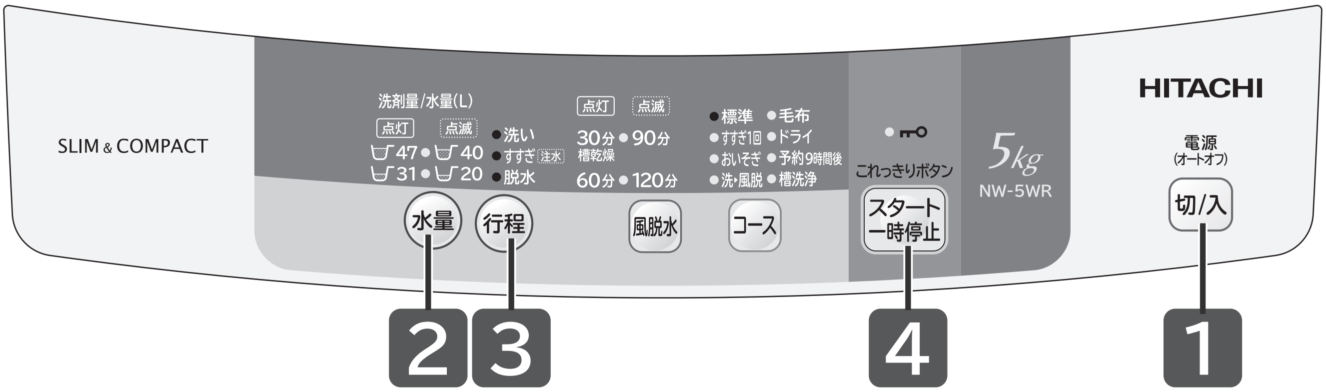


液体合成洗剤
2倍にうすめて、投入口に入れてください。

お好みの設定で運転する

洗い・すすぎ・脱水の個別運転

洗い・すすぎ・脱水を設定したり、それぞれを組み合わせて運転させることができます。
設定内容は記憶されません。

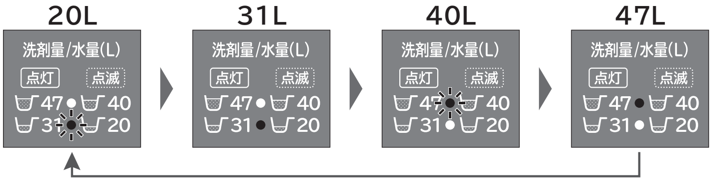


こんな場合に	1	2	行程ボタンで内容を設定する	
注水すすぎにして洗濯する **洗い→注水すすぎ→脱水**	を押す	**を押して水量を選ぶ** 設定がないときは、自動で決まります。(洗い設定があるときのみ)	行程	1回押す
洗濯を分けて洗う **洗いのみ** 洗濯・脱水槽に水をためる **水道水をためる**				2回押す
しわが気になる洗濯物を脱水しない **洗い→すすぎ**				3回押す
すすぎ液を再利用する **洗い→注水すすぎ**				4回押す
干す前に脱水する **脱水のみ** 洗濯・脱水槽の水を排水する **排水のみ**				5回押す
洗った洗濯物をすすいで脱水する **すすぎ→脱水**				6回押す
洗った洗濯物をすすいで脱水する **注水すすぎ→脱水**				7回押す
のり付けをする→(P.20) **洗い→脱水**				8回押す

「標準」コース以外で個別運転をする場合も同じ操作をします。(できない行程もあります)→**(P.23)**

■水量の設定を変更する

「水量」ボタンを押すごとに、設定が切り替わります。



洗いやすすぎ中に水を足したいときは、「水量」ボタンを押します。押している間給水します。
(47L以上は給水しません)

■洗い・すすぎ・脱水の設定を変更する

「行程」ボタンを押すごとに、「洗い」「すすぎ」「脱水」が切り替わります。

行程表示			4	終了
洗い ●	すすぎ ●	脱水 ●		
●	☀ (注水すすぎ)	●	スタートボタンを押す	洗濯～注水すすぎ～脱水を設定した内容で運転します。
●	○ (すすぎなし)	○		洗濯液が残ったまま停止します。 水道水をためたまま停止します。
●	● (ためすすぎ)	○		すすぎ液が残ったまま停止します。
●	☀ (注水すすぎ)	○		すすぎが注水すすぎになります。 すすぎ液が残ったまま停止します。
○	○ (すすぎなし)	●		排水して、脱水します。
○	● (ためすすぎ)	●		すすぎの前に排水、脱水し、その後、すすぎ、脱水をします。
○	☀ (注水すすぎ)	●		すすぎの前に排水、脱水し、その後、注水すすぎ、脱水をします。
●	○ (すすぎなし)	●		すすぎをせずに洗いと脱水をします。

電源を入れる(または、「行程」ボタンを9回押す)と「洗い」「すすぎ」「脱水」のランプがすべて点灯します。

お好みの設定で運転する　つづき

運転内容と変更できる内容

（灰色）：標準設定内容　（白）：切り替えできる内容

コース・運転	水量	行程		
		洗い	すすぎ	
			1回目	2回目
標　準	20～47L	12分	ためすすぎ	ためすすぎ
	20～47L		注水すすぎ※1	注水すすぎ※1
すすぎ1回	20～47L	12分	ためすすぎ	―
	20～47L			
おいそぎ	38L（表示は40L）	6分	ためすすぎ	―
	20～47L		注水すすぎ※1	―
洗　風脱	20～47L	12分	ためすすぎ	ためすすぎ
	20～47L			
毛　布	47L	25分	ためすすぎ	ためすすぎ
	20～47L			
ドライ	31L	6分	注水すすぎ※2	―
	20～47L			
予約9時間後	20～47L	12分	ためすすぎ	ためすすぎ
	20～47L		注水すすぎ※1	注水すすぎ※1
槽洗浄	47L	615分	ためすすぎ	ためすすぎ
風脱水	―	―	―	

※1「すすぎ」のランプが点滅します。
※2「すすぎ」のランプが点灯します。

●所要時間の目安は給水時間(給水量毎分15L)、排水時間を含みます。
●所要時間の目安時間は、室温20℃、水温20℃で運転した場合です。
●「標準」「すすぎ1回」「洗▶風脱」「予約9時間後」コースは、洗濯物の量を自動計測して、最適な洗濯内容を決定します。
●スタートしたあとは、コースの切り替えや設定の変更はできません。
一度電源を切ってから行ってください。
●脱水の途中で「スタート/一時停止」ボタンを押し、再度「スタート」した場合は、脱水を始めからやり直します。
●給水開始から設定水位に達する間は、各ボタンの変更はできません。
●「所要時間の目安」の(　)は、手動で切り替え設定したときの目安時間です。

行程 脱水	風脱水	所要時間の目安
9分	—	52分 (39～52分)
9分	—	42分 (34～42分)
5分	—	25分 (21～27分)
30分	—	73分
9分	—	56分
2分	—	23分 (21～26分)
9分	—	52分 (39～52分)
30分	—	670分
—	30、60、90、120分	30、60、90、120分

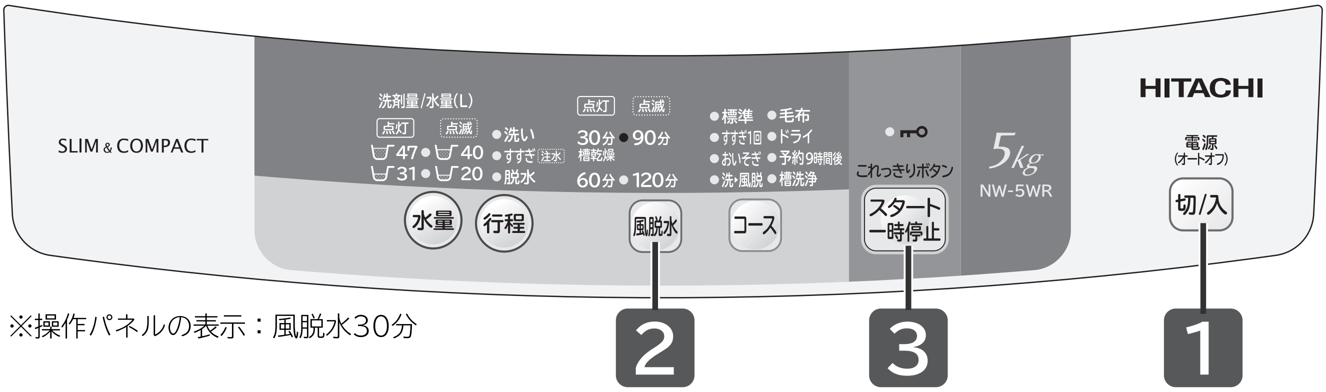
注水すすぎについて

●「すすぎ」表示が点滅します。
●水漏れを防ぐため、注水を途中で停止する場合があります。

風脱水運転をする

洗濯終了後の少量の洗濯物の仕上げや、熱に弱い素材(化繊)の洗濯物を風脱水します。
洗濯は行いません。

使いかた



※操作パネルの表示：風脱水30分

準備	洗濯物を1枚ずつ広げ、片寄らないように入れる→(P.14、15)
1	切/入 を押し、電源を入れる
2	風脱水 を押し、30/60/90/120分から、いずれかの時間を選ぶ
3	ふたを閉め、 スタート 一時停止 を押す

⚠注意

脱水異常振動によるけがや、故障などを防ぐために→(P.6)

- **防水性のマット・シートや衣類、足ふきマット、玄関マットなど硬くて厚いもの、水を通しにくい繊維製品、カーペットは、洗い・すすぎ・脱水・風脱水をしないでください。**
- **毛布など大物の洗濯物を折りたたんだまま重ねた状態で洗濯をしないでください。**
- **一辺が40cm以上の大きな洗濯ネットを使用しないでください。**

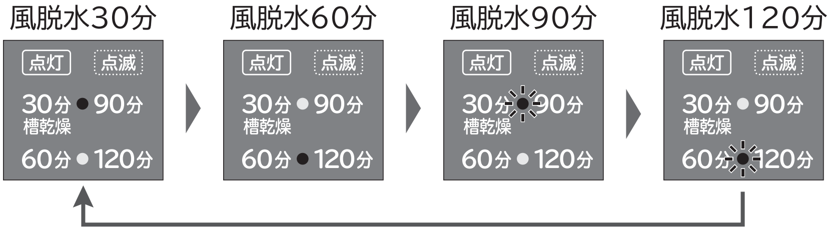
脱水時の異常振動により、洗濯物が飛び出したり、衣類が損傷したり、洗濯機や周囲の壁や床などを破損するおそれがあります。

洗濯・脱水槽に水が入っている場合は、水を排水してください。→**(P.32)**

詳細設定

■干し時間を短縮することを目的とした機能なので、運転終了後は部屋干し、または天日干しをしてください。
衣類の量・種類、気温・湿度、室内の換気状態、設置環境によって、乾き具合に差が出ます。

[風脱水] を押すごとに設定が切り替わります。



・設定を解除するときは、[コース] を押してください。または [切/入] を押して電源を切ってください。

運転	最大洗濯容量	運転時間
風脱水	化繊：1kg	30分
		60分
		90分
		120分

運転時間は風脱水を行っている時間です。裏地のある洗濯物は、運転時間を長めに設定することをおすすめします。風による乾燥のため、乾いていないと感じる場合があります。

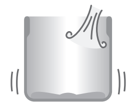
洗濯物の量の目安

1kg以上の洗濯物は入れないでください。→(P.15)
洗濯物を傷めたり、乾きムラやしわになるおそれがあります。

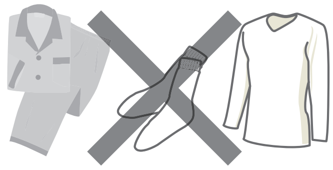
槽洗浄・槽乾燥を使う

洗濯・脱水槽の汚れやにおいが気になるときや、カビの発生を防止したいときにおすすめするコースです。

運転の使い分け

運転	こんなときに	運転時間
槽洗浄	洗濯・脱水槽の汚れやにおいが気になるとき	11時間
槽乾燥	洗濯・脱水槽のカビの発生を防止したいとき 	30分

衣類は
入れないでください



槽洗浄

洗濯・脱水槽の汚れやにおいが気になるときに使用してください。洗濯槽クリーナーなどを使い、洗濯・脱水槽に蓄積された石けんかすや黒カビを洗い落とし、約30分間脱水してにおいを取ります。

●洗濯・脱水槽の動作

洗い 給水され、かくはんする（約15分） → **休止** 約600分 → **すすぎ２回** 排水して、脱水後、ためすすぎをする → **排水** 排水する → **脱水（槽乾燥）** 脱水する（約30分）

一般的に長期間使用すると、石けんかすの蓄積や黒カビなどにより、においが発生しやすくなります。
1～2か月に一度程度を目安に槽洗浄運転をおすすめします。洗濯物への糸くず付着が気になるときも使用してください。この場合は、洗濯槽クリーナーは必要ありません。

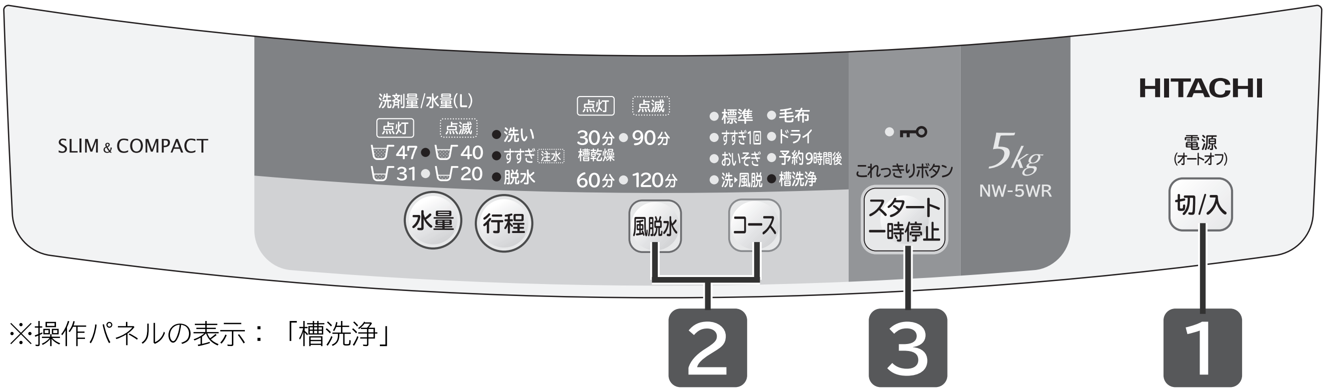
洗濯槽クリーナーなどを使用する場合

●衣類用塩素系漂白剤（「ハイター」など）または、洗濯槽用塩素系漂白剤を使用してください。
●しっかり洗浄したいときは、洗濯機専用の洗濯槽クリーナー「防食剤配合塩素系漂白剤」
（例：日立純正洗濯槽クリーナーSK-1・別売り部品）を使用してください。→**(P.56)**
●洗濯槽クリーナーや各種の漂白剤に使用上の注意や使用量が表示されている場合は、表示に従ってください。
●使用量が表示されていない場合は、約500mLを使用してください。
●酸素系漂白剤や台所用漂白剤は使用しないでください。
泡が多量に発生し、水漏れの原因になります。
●洗濯・脱水槽の中に入れるときは、本体表面に付着しないように注意してください。
付着した場合は、すぐにふき取ってください。

槽乾燥

洗濯・脱水槽のカビの発生を防止したいときに使用してください。約30分間洗濯・脱水槽を脱水運転して、黒カビの発生を抑えます。

使いかた



※操作パネルの表示：「槽洗浄」

「槽洗浄」の場合

準備

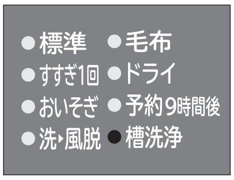
水栓(蛇口)を開ける

洗濯槽クリーナーなどを使用する場合は、換気をしてください。

1 切/入 を押し、電源を入れる

2 コース を押し、「槽洗浄」を選ぶ

槽洗浄



日立純正洗濯槽クリーナーまたは衣類用塩素系漂白剤を直接洗濯・脱水槽に入れる。

3 ふたを閉め、 スタート 一時停止 を押す

4 運転終了後、
糸くずフィルターをお手入れする→(P.42)

「槽乾燥」の場合

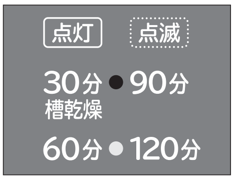
準備

水栓(蛇口)を開ける必要はありません

1 切/入 を押し、電源を入れる

2 風脱水 を押し、「30分 槽乾燥」を選ぶ

槽乾燥30分



「風脱水30分」と「槽乾燥30分」は同じ表示です。

3 ふたを閉め、 スタート 一時停止 を押す

洗濯・脱水槽に水が入っている場合は、水を排水してください。→**(P.32)**

便利な使いかた

お湯を使う(風呂水など)

1. 切/入 を押し、電源を入れる

2. スタート一時停止 を押す

3. 水量が点滅または点灯していることを確認する

点滅

または

点灯

4. 切/入 を押し、電源を切る

5. 洗濯・脱水槽に洗濯物と洗剤を入れる

   洗剤は、洗濯物の量に応じて入れてください。→**(P.17)**

6. お湯(風呂水など)を入れる

   ●洗濯物が完全につかるまで入れてください。
   ●50℃以下のお湯をご使用ください。
   ●つけおき洗いをする場合は、このまま放置してください。

7. 切/入 を押し、電源を入れる

   電源を入れたまま、20分以上放置しないでください。
   自動で電源が切れ、入れたお湯(風呂水など)が排水されます。→**(P.46)**

8. コース を押し、コースを選ぶ

9. スタート一時停止 を押し、運転させる

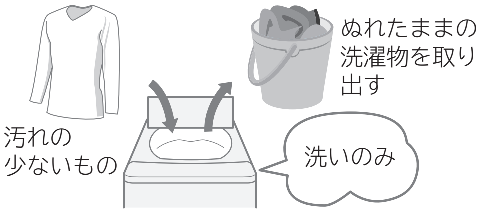
   設定の水量に達していないと、水道水が給水されます。
   お湯(風呂水など)が入っていますので、水量が多めに表示されることがあります。
   水量を変更する場合は→**(P.33)**

●洗剤を入れ過ぎないでください。
　入れ過ぎると発泡するおそれがあります。
●入浴剤の入った風呂水を使うときは、入浴剤の注意書きに従ってください。
　色移りや変色を防ぐためです。
●お湯(風呂水など)を洗濯・脱水槽に入れる際は、洗濯機の周囲や、操作パネルにこぼさないよう
　ご注意ください。
　濡れた場合は、乾いた布でふいてください。

洗濯液を2度使う

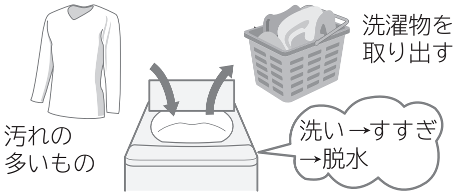
1 「洗いのみ」を運転する→(P.32)

1回目は汚れの少ないものを洗います。
水量に合わせて洗剤を入れます。



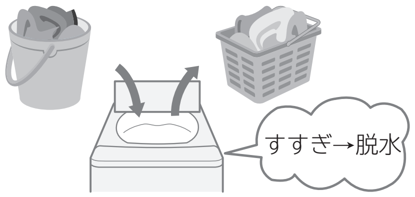
2 お好みのコースを運転する

2回目は汚れの多いものを洗います。
洗濯物に応じた水量を設定します。



3 「すすぎ→脱水」を運転する→(P.32)

1回目の洗濯物をすすぎ→脱水します。
1回目と同じ水量を選びます。



終了音の設定

運転の終了を、音(ピーピーピー)でお知らせします。

工場出荷時は「設定あり(音あり)」が設定されています。設定を変更するときは

1 切/入 を押し、電源を入れる

2 スタート 一時停止 を3秒以上押す

設定と同時に、洗濯がスタートします。

3 切/入 を押し、電源を切る

設定完了を音でお知らせします。

音あり	設定あり(工場出荷時)	「ピーピッピッピッ」音でお知らせします
音なし	設定なし	「ピーピッピッピー」音でお知らせします

運転が終了すると、設定が解除されます。運転のたびに設定してください。

衣類乾燥機と組み合わせる

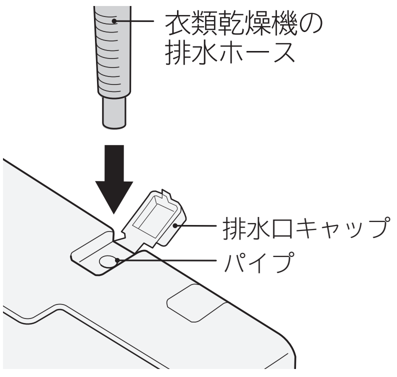
衣類乾燥機から出る水を、洗濯・脱水槽に流します。

1 洗濯機の右側後部の排水口キャップを開く

2 内部のパイプに衣類乾燥機の排水ホースを回しながら、奥まで差し込む

3 衣類乾燥機の排水ホースを引っ張って、簡単に抜けないことを確認する

本体の排水ホースを倒してご使用ください。



お手入れ

長くお使いいただくために、こまめにお手入れしてください。お手入れ方法について説明します。

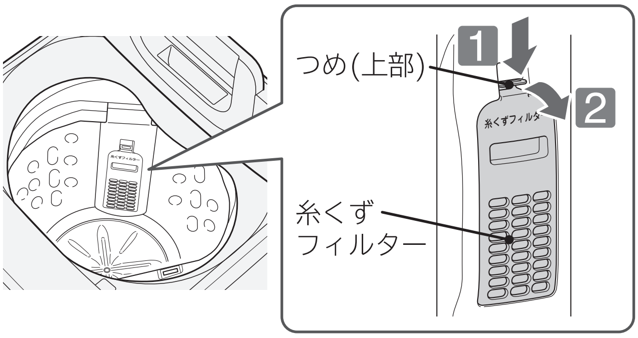
糸くずフィルター

洗濯運転終了後、毎回お手入れしてください。

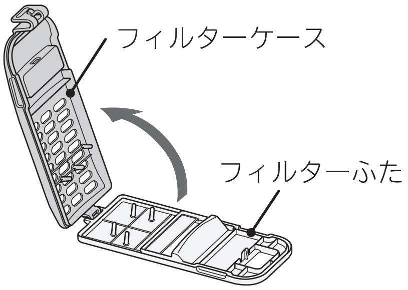
1 糸くずフィルターを取り外す

1 糸くずフィルターのつめ(上部)を押したまま

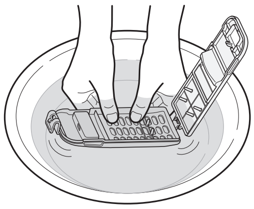
2 手前に倒し、取り出す



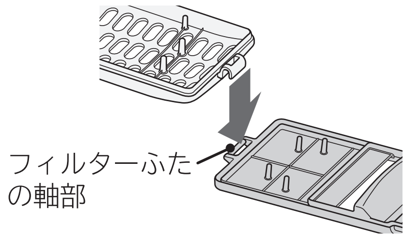
2 フィルターケースを開ける



3 糸くずを取り除き、目詰まりを洗い落とす



お手入れ中にふたが外れた場合

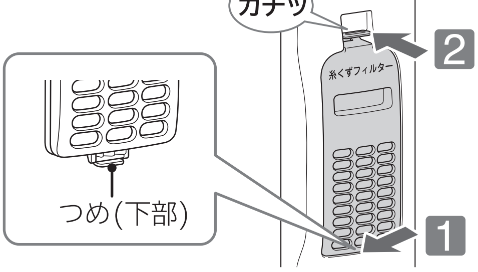


フィルターふたが外れた場合は、フィルターケースをフィルターふたの軸に合わせて、垂直に押し込んでください。

4 フィルターふたを閉め、糸くずフィルターを元どおり取り付ける

1 糸くずフィルターのつめ(下部)を、取り外した元の位置に入れる

2 糸くずフィルターのつめ(上部)を、「カチッ」と音がするまで押す

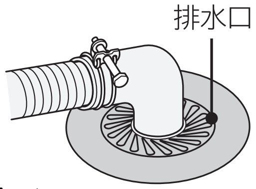


- ●糸くずフィルターを取り出したとき、洗濯・脱水槽のくぼみにヘアピンや硬貨などを落とさないように注意してください。
- ●糸くずフィルターを外した状態で洗濯をしないでください。洗濯物を傷めるおそれがあります。

お願い　糸くずフィルターは消耗品です。
破損したときは、販売店でお買い求めください。→**(P.56)**

排水口・排水トラップ

月に一度を目安に、またはすすぎ表示と洗濯コースが全て点滅された場合、お手入れしてください。



1 脱水運転を行い、排水されたことを確認し、排水ホースを排水口から外す

排水ホース内の残水が溢れ出る場合があるため、排水口の近くにバケツなどの容器を置くか、ぞうきんで残水を受けてください。

2 排水ホース内、排水口の中に残っている糸くずなどを取り除く

排水トラップのお手入れ方法については、排水トラップの取扱説明書をご覧ください。

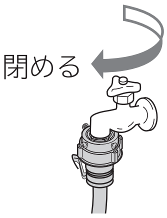
3 排水ホースを排水口に差し込み、脱水運転を行い、排水されることを確認する

- 排水口に糸くずがたまりやすい場合や、排水口が本体の真下にあり、お手入れしにくい場合は、別売りの糸くずボックスをお買い求めいただき、設置することをおすすめします。→**(P.56)**
- 排水ホースを排水口から外し、再度差し込む場合は、水漏れの原因になるので先端が排水配管に確実に差し込まれているか確認してください。→**(据付説明書 P.8)**

給水口

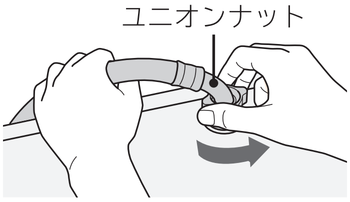
水道水の給水時間が長くなったり、洗い表示と洗濯コースが全て点滅された場合、お手入れしてください。水の飛び散りを防ぐため、次の手順で行ってください。

1 給水ホース内の水を抜いたあと、給水ホースを外す



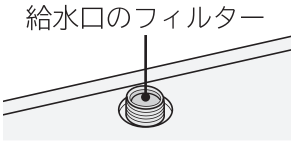
1. **水栓(蛇口)を閉め、 切/入 を押し、電源を入れる**
2. **コース を押し、「槽洗浄」を選ぶ**
3. **スタート 一時停止 を押し、約10秒間運転させる**
4. **スタート 一時停止 を押してから、 切/入 を押し、電源を切る**
5. **ユニオンナットを緩め、給水ホースを外す**

   給水ホース内に残った水がたれる場合があります。
   給水ホースの先にバケツなどの容器を置くか、ぞうきんなどで水を受けてください。



2 給水口のフィルターにたまったゴミを、歯ブラシなどで取り除く

給水口のフィルターをペンチなどで取り外して掃除してください。
給水口のフィルターを取り付けていないと、給水弁の故障の原因になります。



3 給水ホースを給水口に取り付ける→(据付説明書 P.13)

ユニオンナットをきちんと取り付けていないと、水漏れの原因になります。

お手入れ　つづき

本体、洗濯・脱水槽

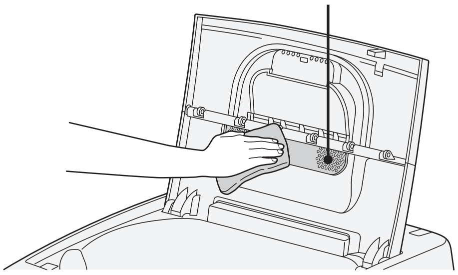
水滴が付着しているときや、汚れているときは、お手入れしてください。

- ●本体の水滴や汚れ、ふたなどのプラスチック部品や、金属部品に洗剤や柔軟剤が付着したときは、柔らかい布でふき取ってください。放置すると傷みやさびが発生したり、破損することがあります。
- ●本体各部に直接水をかけないでください。
- ●ベンジン、シンナー、クレンザー、アルカリ性洗剤、弱アルカリ性洗剤、ワックスなどでふいたり、たわしでこすらないでください。
- ●洗濯・脱水槽のさびは、クリームクレンザーでふき取ってください。金属たわしなどは使わないでください。
- ●ステンレス槽はさびにくい性質を持っていますが、次のような場合にはさびが発生することがあります。
  - ・ヘアピンなどの洗濯・脱水槽への長時間の接触や、鉄粉や赤さびの混じった水の使用。
  - ・洗濯・脱水槽内金属部分への塩素系漂白剤や洗剤、柔軟剤の長期間放置。
- ●運転終了後に、注水口から給水経路に残った水滴が垂れる場合がありますので、柔らかい布でふき取ってください。
- ●洗濯・脱水槽の汚れやにおいが気になるときは「槽洗浄」、洗濯・脱水槽のカビの発生を防止したいときは「槽乾燥」を運転してください。→**(P.38)**

吸気口

ほこりが付着しているときや、汚れているときは、お手入れしてください。

1. **ふたを開ける**
2. **吸気口の汚れを柔らかい布でふき取る**
3. **ふたを閉める**



水栓(蛇口)、ワンタッチつぎて、給水ホース

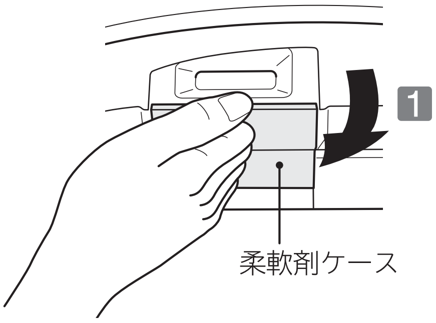
水栓(蛇口)のパッキンなど長年使用していると、経年劣化やさびなどにより、水漏れに至るおそれがあるため、定期的(使用時など)に水漏れがないか確認してください。
万一、水漏れが起きた場合は、水栓(蛇口)を閉めて点検・修理をご相談ください。→**(P.60)**

柔軟剤投入口

柔軟剤が付着しているときや、汚れているときは、洗い流してください。

1 柔軟剤ケースを引き出す

柔軟剤ケースを手前に引き出す



2 柔軟剤投入口から水を入れ、歯ブラシなどで内部を掃除する

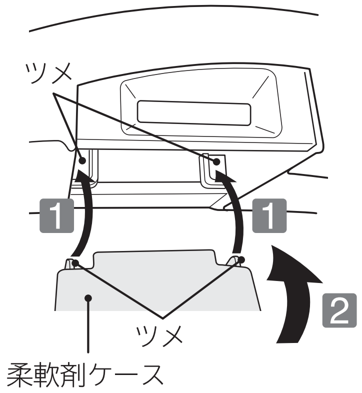
- 水があふれて、周囲に水がかからないように注意してください。
- 汚れがひどいときは、お湯(約40℃)で柔らかくしてから、歯ブラシなどで掃除してください。

3 水気をふき取り、柔軟剤ケースを取り外した位置に取り付ける

柔軟剤投入口のツメと、

柔軟剤ケースのツメを合わせる

カチッと音がするまで押し込む



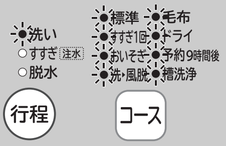
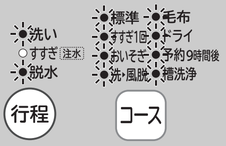
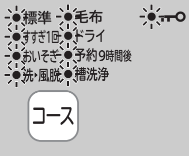
柔軟剤投入口のお手入れをするときは、柔軟剤ケースのお手入れを同時に行うことをおすすめします。

お困りのとき

下記以外の表示が出たときは→(P.51)

操作パネルにお知らせ表示されたとき

表示の点滅やブザーでお知らせします。
下の表の「直しかた」に従って運転を再開してください。
お知らせ表示されたまま12時間以上放置すると、自動で電源が切れます。

お知らせ表示と内容	直しかた		
 給水されません	を押して 一時停止	●水栓(蛇口)は開いていますか。 ●給水口のフィルターにごみがたまっていませんか。 →**(P.43)** ●断水していませんか。 ●水道や給水ホースが凍結していませんか。→**(P.55)**	を押して 運転開始
排水されません	を押して 一時停止	洗濯・脱水槽および排水ホース内に残水がある場合があります。脱水運転後に以下を行ってください。 ●排水口、排水トラップ、排水ホースに糸くずなどが詰まっていませんか。→**(P.43)** ●排水ホースが正しく取り付けられていますか。 →**(据付説明書 P.8、9)** ・つぶれたり、凍結していませんか。 ・排水ホースを倒していますか。 ・先端が水につかっていませんか。 ・途中15cm以上高くなっていませんか。 ●延長用ホースを付けている場合、排水ホースが2m以上になっていませんか。	を押して 運転開始
脱水されません	を押して 一時停止	●洗濯物が片寄っていませんか。 洗濯物は洗濯・脱水槽内の外側に均一に入れ直してください。 ●タオルケットやジーンズなどの厚手の洗濯物や、洗濯ネットに入れた洗濯物を、一つだけで洗っていませんか。 ほかの洗濯物を2、3枚追加してください。 ●毛布など大物の洗濯物が多く入っていませんか。 大物の洗濯物を減らしてください。 ●本体にガタつきがないか、傾いた床面に設置していませんか。 水準器の気泡が円の中に入っていることを確認してください。→**(据付説明書 P.6)** ●洗濯も風脱水運転もできないものを入れて運転していませんか。 洗濯も風脱水運転もできないものを取り出してください。→**(P.14)**	確認後 を押して 運転開始
 ふたが開いています		●ふたが開いていませんか。 洗濯・脱水槽が回転するときは、危険防止のため、ふたが開かないようにふたロックされます。 →**(P.13)**	ふたを 閉めると 運転再開
 ふたがロックされません ふたロックが解除されません	を押して 一時停止	ふたが閉まっていますか。→**(P.13)**	確認後 を押して 運転開始

次のような場合は使用を中止し、「エコーセンター」へお問い合わせください。→(P.60)
●上記のお知らせが表示されたあと、「直しかた」の項目を確認しても、何度も繰り返し表示される場合。
●上記以外のお知らせが表示されたあと、電源を一度切り、再度電源を入れ直しても何度も繰り返し表示される場合。

こんな音がしたとき

次のような音は、正常に運転しているときに発生する音です。

こんな音がしたとき		音の原因（故障ではありません）
洗いまたはすすぎをしているとき	カチャ・カツカツ	洗い運転と、すすぎ前の脱水運転とを切り替えるときの音です。
	ブーン・カラカラ	モーターの運転音です。
	シュー・カラカラ	洗濯物の量を計測している音です。
脱水しているとき	ブーン・カラカラ	モーターの運転音です。 ・脱水のとき、洗濯・脱水槽が回転する速度は段階的に速くなるため、回転速度が上がると、音が大きくなることがあります。
	カチャ・カチャ	脱水運転に切り替えるときの音です。
	ブーン・ブンブンブン	ブレーキの音です。

本体各部

次のようなときは、修理を依頼される前に、もう一度確認してください。

こんなときは		ここを確認してください
① 音	音が気になる	洗濯・脱水槽の中に、硬貨やヘアピンなど異物が詰まっていないかを確認してください。
	給水音が大きい	水道水圧が高いと、給水音が大きくなることがあります。 気になる場合は、水栓(蛇口)を絞ってお使いください。
	脱水終了後、接触音がする	洗濯物を取り出しやすくするために、ほぐし動作をしています。
② 振動	振動や騒音が気になる	水準器の気泡が円の中に入っていることを確認してください。→**(据付説明書 P.6)**
		洗濯物の片寄り具合により、脱水時の音や振動が大きくなることがあります。 「一時停止」ボタンを押してから、洗濯物は洗濯・脱水槽内の外側に均一に入れ直してください。「スタート」ボタンを押すと運転が再開されます。

お困りのとき　つづき

こんなときは		ここを確認してください
❸ 給水口・給水	給水されない	水栓(蛇口)が開いていることを確認してください。→**(据付説明書 P.11)**
		給水口のフィルターにゴミがたまっていないか確認してください。→**(P.43)**
		水道や給水ホースが凍結していないか確認してください。→**(P.55)**
		ふたが開いていないかを確認してください。 ふたを閉めると給水が始まります。 給水が始まるまでに約1分かかります。
	給水ホースから水漏れする	水栓(蛇口)の形状が合っていることを確認してください。→**(据付説明書 P.11)**
		ワンタッチつぎてやユニオンナットの締め付けに緩みがないか確認してください。 →**(据付説明書 P.13)**
		水栓(蛇口)のパッキンや金属部など、長年使用していると経年劣化やさびなどにより、水漏れすることがあります。 専門工事店へご相談することをおすすめします。
	(バケツなどで水を入れるとき)水がたまらない	電源を入れると排水口の弁が閉まり、洗濯・脱水槽に水をためることができます。
	水が抜ける	排水動作の確認を行うため、あらかじめ水が入っているといくらか排水します。
❹ 排水口・排水	排水口が詰まる	排水トラップの形状によっては、糸くずが詰まりやすくなる場合があります。 「槽洗浄」で洗濯・脱水槽を洗い流してください。→**(P.38)** 排水口に残る糸くずなどを押し流すことができる場合があります。
		排水口は、月に一度を目安にお手入れしてください。 それでも排水口が詰まる場合は、別売り部品の「糸くずボックス」をお買い求めいただき、設置されることをおすすめします。→**(P.56)**
	排水口の周りが泡であふれている、ぬれている	洗剤や漂白剤を入れ過ぎると、運転中に泡が多量に発生し、排水口から水が漏れたり、泡があふれたりする場合があります。 洗剤や漂白剤は、表示に従って適量を入れてください。→**(P.17)**

	こんなときは	ここを確認してください
⑤ふた	ふたが開かない	電源が入っている状態でふたロック表示が点滅 しているときは、ふたを開けられません。→(P.13)
		チャイルドロックを設定している場合は解除してください。→(P.13)
		ふたロック表示が点滅 した状態で電源を切ると、ふたがロックされたままとなり開けられません。 電源を入れると、ふたのロックが解除されます。
		脱水運転中に電源を切ると、洗濯・脱水槽の回転が止まるまで、ふたはロックされたままとなり開けられません。 洗濯・脱水槽の回転が止まるまで、お待ちください。ふたロック表示が消灯 すると、ふたは開けられます。
	運転終了時、ふた裏側や投入口への水滴付着が気になる	洗濯物の組み合わせや運転内容によって、洗い／すすぎ中の洗濯物の絡まり具合により、水滴が付着する場合があります。 気になるときは、乾いた布でふき取ってください。
⑥洗濯・脱水槽	初めて使用するのに、洗濯・脱水槽や排水ホースがぬれている	工場出荷時の動作確認に使用した際の残水や結露した水分が、洗濯・脱水槽やホースに残っている場合があります。
	洗濯・脱水槽が変色する	水や洗剤に含まれる成分が洗濯・脱水槽の表面に付着して酸化し、変色をする場合があります。 気になるときは、ステンレス専用クリーナーでふき取ってください。
⑦電源	電源が入らない	電源プラグがコンセントに差し込まれているか確認してください。
	運転途中で止まっている・運転の途中で電源が切れる	テレビやラジオなど、ノイズが出る機器が本体の側にあると電源が切れる場合があります。 一度電源プラグを抜き差ししたあと、再度運転してください。
		脱水時に洗濯物の片寄りを検知して「脱水」が点滅され、運転を中断する場合があります。 洗濯物の片寄りを直すか、ほかの洗濯物を追加して再度運転してください。
	「電源」ボタンを「切」→「入」すると受け付けない	約5秒間、コース表示が消灯するまで、電源「切/入」ボタンを受け付けません。
⑧本体	表示部がくもる	お湯(風呂水など)で洗濯していると、洗濯・脱水槽が温められ、蒸気や湿気でくもる場合があります。くもりが消えるまで、しばらくお待ちください。

本体の運転動作

こんなときは		ここを確認してください
⑨ 運転動作	すすぎ運転が設定した内容と違う	洗剤を入れ過ぎると、泡が多量に発生するため、泡の発生を抑える「注水すすぎ」に変更されます。 洗剤は表示に従って適量を入れてください。→(P.17)
		すすぎ行程での脱水時に洗濯物の片寄りを直せなかった場合は、自動で「注水すすぎ」に変更します。
	脱水運転中にすすぎ運転に戻る	最終脱水時に洗濯物の片寄りが起きると洗濯物の片寄りを直すために、すすぎ運転に戻ります。
	脱水運転時の洗濯・脱水槽の回転速度が変化する	洗濯物の量や片寄り具合に合わせて、洗濯・脱水槽の回転速度を自動で調節しています。
	「風脱水」ボタンを押したのに運転しない	洗濯・脱水槽に水が入っていると運転しません。 洗濯・脱水槽内の水を排水してください。→(P.32)
⑩ 運転時間	運転時間が長い	脱水運転中に洗濯物の片寄りが発生すると、片寄りを直す運転が自動で追加されるため、運転時間が長くなります。
		洗濯運転の途中で、洗濯物を追加すると、最初に自動計測された洗濯物の重さより重くなるので、運転時間が長くなる場合があります。
		洗濯物の布質、大きさ、気温、水温などの条件によって運転時間が変化するため、実際の運転時間と異なる場合があります。
	予約した時間に運転が終わらない	洗濯物の量や布質、給水量によって、予約した運転終了予定時間より、実際の運転終了時間が遅くなる場合があります。

操作パネルの表示内容 〔点滅表示されたとき→(P.46)〕

こんなときは		ここを確認してください
⑪ 水量表示	スタート直後、水量表示が一番高い水量になる	洗濯・脱水槽に、あらかじめ水が入っていると、自動で一番高い水量になります。
	洗濯物の量が少なくても、水量表示が多めに表示される	洗濯物が湿気を多く含んでいたり、ぬれていたりすると、洗濯物の量が多めに計測されます。 水量を変更したい場合は、一時停止ボタンを押し、水量を変更してください。
		厚手の洗濯物は重いため、洗濯物の量が多めに計測される場合があります。 水量を変更したい場合は、一時停止ボタンを押し、水量を変更してください。
	洗濯物の量が多くても、水量表示が少なめに表示される	ご購入後、使用される最初のときはモーターのなじみの影響により制御しているため、少なめに表示される場合があります。 水量を変更したい場合は、一時停止ボタンを押し、水量を変更してください。
		化繊、ポリエステルなどの洗濯物は軽いため、洗濯物の量が少なめに計測される場合があります。 水量を変更したい場合は、一時停止ボタンを押し、水量を変更してください。
⑫ 運転中表示	注水すすぎの途中でためすすぎになる	排水口が詰まっていると、自動でためすすぎになります。
	注水すすぎに設定していないのに、注水すすぎになる	洗濯物の片寄りが起きた場合、ほぐし動作を行うため、「注水すすぎ」に切り替わります。

洗濯物の仕上がりが気になる

こんなときは	ここを確認してください
⑬洗剤残りがある(白いものが残る)	固まった洗剤を入れると溶け残りのほかに水漏れの原因にもなります。 細かく砕いてから入れてください。
	石けん(天然油脂)をご使用になる場合は、十分に溶かしてから、直接、洗濯・脱水槽に入れてください。→**(P.19)**
	洗剤の種類によっては、水温が低いときに溶け残ることがあります。 洗剤は表示に従って適量を入れてください。→**(P.17)**
	洗剤残りが気になる場合は、下記をお試しください。 ・「注水すすぎ」に設定してください。→**(P.32)** ・洗剤を液体洗剤に変えてお試しください。
⑭糸くずが気になる	糸くずフィルターに糸くずがたまっているかを確認してください。 糸くずフィルターは、洗濯運転終了後、毎回お手入れしてください。→**(P.42)**
	「槽洗浄」で洗濯・脱水槽を洗い流してから洗濯することをおすすめします。→**(P.38)** ・洗濯・脱水槽の内部に、固形の汚れ(糸くずなどの固まり)がたい積していることがあります。
	色の濃い洗濯物は糸くずが目立ちやすいため、下記をお試しください。 ・「注水すすぎ」に設定してください。→**(P.32)**
	糸くずなどが気になるものは、裏返して洗ってください。
	タオル・バスタオルなどは別にして洗ってください。
	糸くず防止用洗濯ネットを使用して洗濯することをおすすめします。
⑮汚れ落ちが悪い	洗濯物を入れ過ぎていないか確認してください。 運転するコースにより、洗濯できる容量が異なります。→**(P.21)**
	泥や食べこぼしなど、落ちにくい汚れは前処理をしてください。
	洗剤は表示に従って適量を入れてください。→**(P.17)** ・洗剤が少な過ぎると、汚れ落ちが悪くなります。 ・石けん(天然油脂)を使用する場合は、十分に溶かしてから、直接、洗濯・脱水槽に入れてください。→**(P.19)**

こんなときは	ここを確認してください
⑯黒ずみが気になる	洗剤は洗濯・脱水槽、柔軟剤は柔軟剤投入口に入れてください。→**(P.18)**
	洗剤・柔軟剤は表示に従って適量を入れてください。→**(P.17)** ・洗剤が少な過ぎたり、入れ過ぎたりすると、汚れ落ちが悪くなり、柔軟剤が洗濯物に蓄積しやすくなって黒ずみの原因になります。 ・柔軟剤を入れ過ぎると、洗濯運転を繰り返すごとに柔軟剤が洗濯物に蓄積しやすくなって黒ずみの原因になります。
	液体洗剤と柔軟剤を一緒に使用すると、柔軟剤が洗濯物に蓄積しやすくなって黒ずみが目立つことがあります。 洗剤を粉末合成洗剤に変えてお試しください。
	洗濯物は湿ったまま長時間放置しないでください。 洗濯物に黒い点々がついている場合は、カビ菌が繁殖している可能性があります。
	黒ずみを直したいときは、下記をお試しください。 【ご注意】 洗濯物をいためる場合もありますので、洗剤・漂白剤の注意書きや洗濯物の絵表示などを確認してください。 状態によっては完全に直せない場合があります。 ・３倍濃度の洗剤液に一晩つけ置きしたあと、洗濯してください。 ・白物は塩素系漂白剤または還元系漂白剤(ハイドロハイター)、色・柄物は酸素系漂白剤で漂白(洗面器などに短時間のつけ置き)してください。
⑰黄ばみが気になる	洗剤は洗濯・脱水槽、柔軟剤は柔軟剤投入口に入れてください。→**(P.18)**
	洗剤・柔軟剤は表示に従って適量を入れてください。→**(P.17)** ・洗剤が少な過ぎたり、入れ過ぎたりすると、汚れ落ちが悪くなって黄ばむ原因になります。 ・柔軟剤を入れ過ぎると、しみが発生する場合があります。 ・適量を入れても洗濯物の汚れ具合によっては、黄ばみになる場合があります。
	黄ばみを抑えたいときは、下記をお試しください。 ・予洗いをする、または「注水すすぎ」に設定してください。→**(P.32)**
	黄ばみを直したいときは、下記をお試しください。 【ご注意】 洗濯物をいためる場合もありますので、洗剤・漂白剤の注意書きや洗濯物の絵表示などを確認してください。 状態によっては完全に直せない場合があります。 ・３倍濃度の洗剤液に一晩つけ置きしたあと、洗濯してください。 ・白物は塩素系漂白剤または還元系漂白剤(ハイドロハイター)、色・柄物は酸素系漂白剤で漂白(洗面器などに短時間のつけ置き)してください。

お困りのとき　つづき

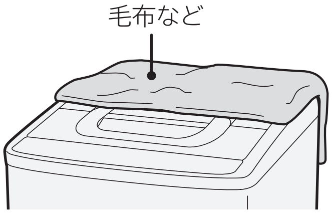
<table>
<tr><th>こんなときは</th><th>ここを確認してください</th></tr>
<tr><td rowspan="2">⑱色移りや変色が気になる</td><td>洗濯物の取り扱い表示を確認してください。
色の濃い洗濯物など色移りしやすいものは、ほかの洗濯物と分けて洗ってください。
また、長時間のつけ置きはお避けください。</td></tr>
<tr><td>水道水に水道管のさびが含まれていないか、タオルなどで水を通して確認してください。
含まれている場合は、専門工事店へご相談ください。
色移りや変色を直したいときは、下記をお試しください。
【ご注意】
洗濯物をいためる場合もありますので、洗剤・漂白剤の注意書きや洗濯物の絵表示などを確認してください。
状態によっては完全に直せない場合があります。
・白物は塩素系漂白剤または還元系漂白剤(ハイドロハイター)、色・柄物は酸素系漂白剤で漂白(洗面器などに短時間のつけ置き)してください。
・「槽洗浄」を運転してください。→(P.38)</td></tr>
<tr><td>⑲洗濯物がゴワつく</td><td>タオルなどパイル素材の洗濯物は、パイルが寝てごわつきが感じられることがあります。
柔軟剤の使用をおすすめします。</td></tr>
<tr><td rowspan="7">⑳においがつく</td><td>ご購入後しばらくの間、ゴム部品などのにおいがすることがあります。
使用するにつれて、においはなくなります。
気になる場合は、「槽洗浄」で洗濯・脱水槽を洗い流してください。→(P.38)</td></tr>
<tr><td>洗濯・脱水槽に石けんかすが蓄積したり黒カビが発生したりすると、においの原因になります。
黒カビの発生を抑えたいときは、下記をお試しください。
・黒カビの発生を抑えるため、ふたを開けておくことをおすすめします。
(子どもが洗濯・脱水槽の中に入らないよう注意してください)
・定期的に「槽洗浄」で洗濯・脱水槽を洗い流してください。
さらに、洗濯・脱水槽の黒カビの発生を抑えるため、「槽乾燥」を運転することをおすすめします。→(P.38)</td></tr>
<tr><td>排水口に糸くずなどがたまっていないかを確認してください。
排水口は、月に一度を目安にお手入れをしてください。→(P.43)</td></tr>
<tr><td>香りの強い洗剤や柔軟剤、粘性の高いものを使用すると、洗濯物に香りが強く残ることがあります。</td></tr>
<tr><td>入浴剤を入れた風呂水を使用した場合、入浴剤の香りが洗濯物に残ることがあります。</td></tr>
<tr><td>洗濯後や生乾きの状態で洗濯物を放置すると、においの原因になります。
運転終了後は洗濯物をすぐに取り出してください。</td></tr>
<tr><td>排水口からのにおいを吸い込み、洗濯物にしみつくことがあります。
においが気になる場合は、別売りの「洗濯機用排水トラップ YT-T1」をお買い求めください。→(P.56)</td></tr>
</table>

もしものとき

凍結のおそれがあるとき（または転居などで水抜きをするとき）

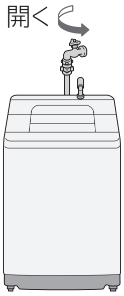
1. **水栓(蛇口)を閉める**
2. **[切/入] を押し、電源を入れる**
3. **[コース] を押し、「槽洗浄」コースを選び、[スタート一時停止] を押して運転させる**
4. **約30秒間運転して [スタート一時停止] を押し、[切/入] を押し、電源を切る**
   給水ホース内の残水を抜きます。
5. **給水ホースを外し、下に向ける**
   給水ホース内に残った水がたれる場合があります。給水ホースの先にバケツなどの容器を置くか、ぞうきんなどで水を受けてください。
6. **排水ホースを排水口に差し込む**
7. **[切/入] を押し、電源を入れる**
8. **[行程] を押し、「脱水」を設定して約30秒間運転させる→(P.32)**
   洗濯・脱水槽と排水ホース内の水を抜くためです。

※寒冷地での使用など凍結のおそれのある場合は、本体のうしろ側(上部)を毛布などで保温してください。



もし凍結したとき

1. **給水ホースを外し、約40℃のお湯につける**
2. **約40℃程度のお湯を、洗濯・脱水槽に約5L入れ、約10分間放置する**
3. **給水ホースをつなぎ、水栓(蛇口)を開ける**

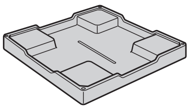
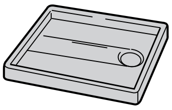
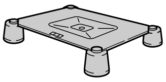
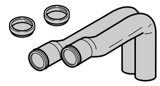
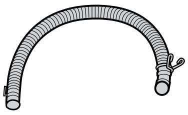
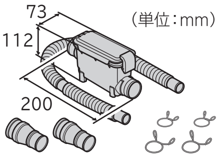
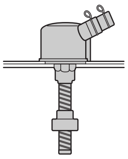
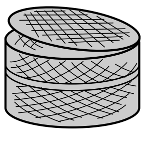
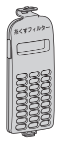
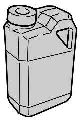
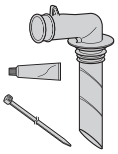


4. **[切/入] を押し、電源を入れる**
5. **[スタート一時停止] を押し、放置する(給水弁を解凍します)**
   通電時の熱で給水弁が解凍され、給水を始めます。(約20分程度)
6. **[切/入] を押し、電源を切る**
7. **次の2点を確認する**
   (1)手で洗濯・脱水槽を回せるか
   (2)電源を入れ、「脱水」のみ→**(P.32)**を設定してスタートし排水するか

※確認できない場合は、1 ～ 6 を始めからやり直してください。

別売り部品

日立の家電品取扱店でお求めください。

こんなときは	別売り部品
結露による水滴から床面を守るとき	**洗濯機用トレー（YT-4）** (幅640×奥行640×高さ83mm) (部品番号YT-4-001) 希望小売価格 12,700円(税別) 
本体からの水漏れや、結露による水滴から床面を守るとき	**洗濯機用防水パン（TP-780）** (幅780×奥行640×高さ63mm) 希望小売価格 12,000円(税別) 住宅工事の工務店などの工事が必要です。 工務店にご相談のうえ、お買い求めください。 
本体を高くするときや、防水パンに入らない場合の設置のとき	**全自動専用設置台（UP-D3）** 希望小売価格 5,000円(税別) 
排水口が本体の下にあるとき	**直下排水Ｌ形パイプ（HO-P5）** 希望小売価格 1,000円(税別) 
排水ホースを延長したいとき	**延長用排水ホース（約80cm）** (部品番号KW-50K1-023) 希望小売価格 800円(税別) 
排水口が糸くずなどで詰まりやすくなったとき	**糸くずボックス（WLB-4）** (同梱排水ホース：長さ80cm) (部品番号WLB-4-001) 希望小売価格 2,000円(税別) 
排水口からの逆流やにおいを防ぐとき	**洗濯機用排水トラップ（YT-T1）** 希望小売価格 4,000円(税別) 排水トラップの取り付けには、住宅工事の工務店などの工事が必要です。工務店にご相談のうえ、お買い求めください。 
毛布コースで洗濯をするとき	**毛布洗いネット（MO-F40）** 希望小売価格 2,800円(税別) 
糸くずフィルターが破損したとき	**糸くずフィルター（1個）** (型式 NET-KD9SV-001) 希望小売価格 600円(税別) 
洗濯物のにおいが気になるときや、洗濯・脱水槽のにおい、汚れが気になるとき	**洗濯槽クリーナー(SK-1)** **(塩素系／1500mL)** 希望小売価格 2,000円(税別) 
排水口に接続するとき (排水口から泡が出るような場合)	**Lパイプ** (部品番号BD-V3700L-003) 希望小売価格 700円(税別) 

上記の希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

仕様

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

本　体

型式	NW-5WR
種類	全自動電気洗濯機
電源	100V、50/60Hz共用
標準洗濯容量	5.0kg（乾燥状態での布質量）
標準脱水容量	5.0kg（乾燥状態での布質量）
標準水量	47L（「標準」コース）
標準使用水量	122L（「標準」コース）
消費電力	390/455W（50/60Hz）
洗濯方式	うず巻式
水道水圧	0.03～0.8MPa {0.3～8kgf/cm^2}
外形寸法	幅539mm×奥行508mm×高さ965mm
質量	26kg

保証とアフターサービス（よくお読みください）

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体に行っています。

【製造年】（本体の銘板の中に西暦4桁で表示してあります）

⚠	**【設計上の標準使用期間】　　7年** **設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。**

(設計上の標準使用期間とは)

・運転時間や温湿度など、以下の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
・設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

■標準的な使用条件

日本工業規格 JIS C9921-4による

環境条件	電圧	単相100V	
	周波数	50Hz/60Hz	
	温度	20℃	
	湿度	65%	
負荷条件	負荷	標準容量	取扱説明書の表示による
	コース	標準コース	
	給水圧力	0.03～0.8MPa	
	給湯・給水温度	20℃±15℃	
使用時間及び回数	1日の平均使用回数	1.5回	
	1回の使用時間	標準コースの時間	
	1年間の使用日数	365日	
	1年間の使用回数	1.5回×365日＝547.5回／年	
注記：温度20℃、湿度65%は、JIS Z 8703の試験状態を参考としている。			

(経年劣化とは)

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

●設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で故障したり、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

保証書(別添)

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。なお、保証期間内でも次の場合には原則として有料修理にさせていただきます。
(イ)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障および損傷。
(ロ)お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障および損傷。
(ハ)火災、地震、風水害、落雷、そのほか天災地変、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障および損傷。
(ニ)一般家庭用以外《例えば業務用などへの長時間使用および車両（車載用を除く）、船舶への搭載》に使用された場合の故障および損傷。

保証期間：お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の保有期間

洗濯機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は、弊社にて引き取らせていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」→**(P.60)**にお問い合わせください。

転居されるとき

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。
ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。
電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても部品の交換は不要です。

修理を依頼されるときは　出張修理

46～54ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	全自動電気洗濯機
型　　式	エヌダブリュー5ダブリューアール NW-5WR
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

修理料金=技術料+部品代+出張料などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。そのほか修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

一般家庭用以外の目的でご使用になる場合

以下のような場合には、保証期間の対象外となります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検(有料)を受けてお使いになることをおすすめいたします。

●車両、船舶に搭載して使用された場合。
●理容院や美容院などの業務用使用、また、寮や病院などの共同使用により、1日の使用時間が一般家庭に比べて極端に長い場合、短期間で部品交換(クラッチ、シール、軸受、ベルト、プーリ、フィルターなど)が必要になることがあります。

愛情点検　★長年ご使用の洗濯機の点検を！

ご使用の際、このような症状はありませんか？	●洗濯・脱水槽が止まりにくい。 ●水漏れがする。(ホース、水槽、給水栓継手) ●こげくさいにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がある。 ●本体にさわるとピリピリ電気を感じる。 ●据付が傾いたりグラグラしている。 ●電源を入れても、動かないときがある。 ●タイマーが途中で止まることがある。 ●電源コード、プラグが異常に熱い。 ●そのほかの異常・故障がある。 ●電源プラグが変形したり、電源コードにひび割れや傷がある。	ご使用中止	このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて販売店に点検・修理をご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈り物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。
※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は お客様相談センターへ

TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34

(受付時間) 9:00～17:30(月～土)、9:00～17:00(日･祝日)
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

修理に関するご相談は エコーセンターへ

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

(受付時間) 9:00～19:00(月～土)、9:00～17:30(日･祝日)
携帯電話、PHSからもご利用できます。

日立家電品の長期使用についてのご相談は、日立長期使用家電品相談窓口へ

TEL 0120-1454-58

(受付時間) 9:00～17:30(月～金)　土、日、祝日および、年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

出張修理のご用命はインターネットからもお申込みいただけます。
ＵＲＬ http://kadenfan.hitachi.co.jp/afterservice/toiawase.html または ［日立家電修理］［検索］
「お問い合わせ」ページの（出張修理の Web 受付）ボタンより入力画面にお進みください。
（注）対象製品をご確認のうえお申込みください。

●「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
●ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
●修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

点字シール

本洗濯機の操作パネル部にお使いいただく「点字シール」をご用意しています。
「点字シール」を操作パネル部にはり付けていただくと、操作部の位置がわかるようになります。
ご希望の方は、お客様相談センターへご連絡をお願いします。

このJ-Mossグリーンマークは、特定の化学物質（鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB（ポリブロモビフェニル）・PBDE（ポリブロモジフェニルエーテル））の含有率がJIS C 0950：2008による基準値以下であることを示しています。（規定の除外項目を除く）

詳しい環境情報は、当社のホームページでご覧いただけます。http://www.hitachi-ap.co.jp/company/environment/kankyo/jmoss/

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名	電話（　　）　-
ご購入年月日	年　　月　　日

廃棄時にご注意ください。

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの洗濯機を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12
電話（03）3502-2111

3-K3263-6B
A8(C)